

競争入札に係る質問回答書

（業務No. : 55 業務名 : 社会教育複合施設新築工事 ） ※回答空欄部については後日回答します。

番号	区分	頁	事項	質問	回答
1.	公告	1	6 工期	標準工期 26 ヶ月、準備期間 120 日間以内とありますが、確認申請書が下付される時期はいつ頃を想定されているかご教示願います。	下付済。
2.	公告	1	6 工期	標準工期 26 ヶ月の中には施設の枯らし期間を含むと理解してよろしいでしょうか。	含まない。
3.	契約の方法及び入札の条件	2	(15) 工事請負契約書	物価スライドについて、全体スライドの現時点での想定起算日をご教示願います。	契約日とする。
4.	契約の方法及び入札の条件	2	(15) 工事請負契約書	物価スライドについて、公的指標と実勢単価に乖離がある場合、専門工事業者見積書、メーカー見積書、メーカー価格改定通知等を基に協議をしていただくことは可能でしょうか。	物価スライドの算定にあたっては、原則として物価資料等の公的指標を用いますが、これにより難い特別な事情がある資材や工種については、その変動を客観的に証明する資料（メーカーの見積書や改定通知等）を提出いただき、発注者において妥当性を検証した上で、協議の対象

					とすることがあります。
5.	構造図	S001	構造関係特記仕様書-1 6. コンクリート工事	コンクリート強度において、3.コンクリートの適用箇所にスラブ以外の躯体全般は Fc30 S21 と記載されておりますが、スラブのコンクリート強度は Fc24 S18 と考えてよろしいでしょうか。	「スラブ以外の躯体全般」を「曲面スラブ以外の躯体全般」と読み替え、スラブのコンクリートは Fc30, S21 としてください。
6.	構造図	S317	スラブリスト	フラットデッキにおいて、仕様は JFE 建材株式会社 JF75-16 Z12 と考えてよろしいでしょうか。フラットデッキの標準図をご提示願います。	宜しいです。
7.	構造図	S005	鉄筋コンクリート構造標準図-3 6. 柱	柱主筋について、柱頭四隅にフックを見込むと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
8.	構造図	S103、 301	2階基礎伏図 基礎梁リスト	基礎梁において、図 301 基礎リスト 2階基礎梁に FGx618 の記載がありますが、図 S103 2階基礎伏図に記載がありません。2階基礎伏図より、基礎梁 FGx618 はなしと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
9.	構造図	S102、 S302、 303	1階伏図 柱芯線図 RC 柱リスト	柱芯線図について、 X6-X7、Y5-Y6 通り間に柱 C44 の図示がありますが、1階伏図では C55 が図示されており、相違します。図 S303 RC 柱リストには柱 C44 の記載はないため、 C55 を正と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。

10.	構造図	S102、 S302	1階伏図 柱芯線図	柱芯線図について、Y5 通り X6-X7 間に柱 C126(1F)の図示がありますが、1階伏図では C86 が図示されており、相違します。1階伏図より、C86 を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
11.	構造図	S101	地盤改良図・1階基礎伏図	基礎梁 FG722d について、X10-X12、Y2-Y4 通り、X14-X16、Y2-Y4 通りの基礎梁 FG722d は多角と考えてよろしいでしょうか。	曲線もしくは柱間スパン程度の多角としてください。
12.	構造図	S202	PC 柱-RC 梁・壁・スラブ取合い	PC 柱について、在来躯体(梁・壁・スラブ)が接続する場合、梁主筋・壁横筋・スラブ筋は定着 L2 と考え、PC 柱に定着筋と機械式継手を埋込みと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。なお、PC 柱と取りつく在来躯体はスラブのみで、梁・壁とは原則スリットにより定着はありません。
13.	構造図	S001、 002、 019、 020	梁貫通孔補強	梁貫通孔補強について、図 S001 特記仕様書 5.鉄筋工事 7.梁貫通孔補強、図 S002 特記仕様書 7.鉄骨工事 12.梁貫通孔補強に補強か所は設備図及び電気図によると記載がありますが、設備図及び電気図に梁貫通位置、スリーブ径の図示がありません。RC 梁、S 梁それぞれについて梁貫通スリーブ位置、か所及びスリーブ径をご提示願います。	スリーブ径と箇所数は別添のスリーブ表をご参照ください。

大熊町社会教育複合施設新築工事

大熊町 電気 スリーブ数量

	径	個数
RC	100φ	62
(地中梁)	150φ	5
	200φ	
	250φ	
	300φ	
	400φ	
合計		67
S梁	100φ	156
	150φ	
	200φ	
	250φ	
	300φ	
	400φ	
合計		156

大熊町 機械設備 スリーブ数量

	径	個数
RCスリーブ	100φ	251
	150φ	162
	200φ	32
	300φ	14
	400φ	25
	500φ	82
	600φ	24
合計		590
Sスリーブ	100φ	970
	150φ	197
	200φ	114
	300φ	144
	400φ	186
	500φ	60
	550φ	4
合計		1675

14.	構造図	S103、 407	梁符号	2階梁伏図について、X10-11.Y4・5間にSB30Mがありますが、図S407北側壁柱詳細図ではSB70と記載があり、符号が相違します。梁伏図を優先しSB30Mと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
15.	構造図	S309、 311	PCa柱PC配線・詳細図、PCa柱脚詳細図-1	PCS(S柱)柱脚詳細について、特記なき限り7番に「屋外露出もしくは土に接するPCa柱には垂れ下げ部を設けること。」と記載がありますが、PCa柱脚詳細図はX13、Y2通り以外全て垂れ下げ範囲の図示がある詳細図となっています。その為、屋外露出もしくは土に接するPCa柱の対象はX13通りとY2通り上のPCS柱以外全てと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
16.	構造図	S312 ～ 312a	PCa柱脚詳細図-2 ～3	PCL・PCM柱脚詳細について、垂れ下げ範囲の図示がある柱脚詳細図示のみですが、該当符号の柱は特記なき限り7番より全て屋外露出もしくは土に接するPCa柱と考えてよろしいでしょうか。屋内もしくは土に接しないPCa柱がありましたら、対象柱や形状詳細図等をご提示願います。	垂れ下げ部があるのは、屋外露出もしくは土に接するPCa柱(PCL・PCM)と考えてください。
17.	構造図	S406、 407	曲面スラブ伏図、リスト、壁柱詳細図	エッジ補強鉄骨BH-520×300×16×28端部納まりにおいて、球中心側はBT-250×300×25×25に接合、北・南壁柱側は南側壁柱詳細図よ	宜しいです。

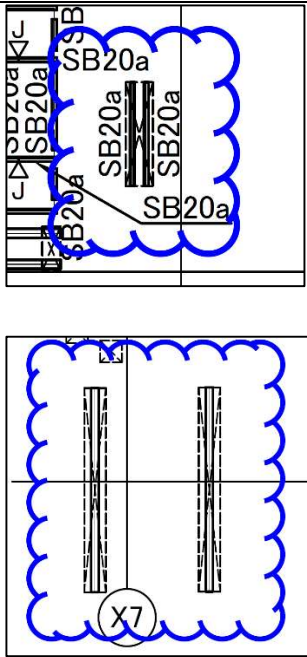
				り壁内の PL-19 と GPL で接合されていると 考えてよろしいでしょうか。	
18.	構造図	S103 S402	地盤改良伏図・2階 基礎伏図・2階伏図 鉄骨詳細図	曲面スラブと小梁との取り合いにおいて、鉄骨 詳細図に曲面スラブと SB55 小梁取り合い詳細 図がありますが、曲面スラブと取合う他小梁 (SB30M、SB70)の曲面スラブとの納まりも SB55 と同様と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
19.	構造図	S318	鉄骨部材リスト	アンカーボルト標準詳細図に図示されたボルトについ て、詳細の記載が無い限り厚さは 30mm と考 えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
20.	構造図	S318	鉄骨部材リスト	アンカーボルト標準詳細図に図示された頭付きスタッ ドボルトとインサートの長さについて、200mm と記載 がありますが、全ての梁共通で頭付きスタッドボルト 、インサートの長さは 200mm と考えてよろしいで しょうか。	宜しいです。
21.	構造図	S008	鉄筋コンクリート構造標 準図-6	S 造スラブ 開口の補強要領について、要領図の 図示がありますが、伏図では開口廻りに鉄骨梁 が配置されており、要領図の溝形鋼や H 形鋼 での補強要領適用箇所が不明です。適用無しと 考えてよろしいでしょうか。 又、適用箇所所有りの場合、適用箇所、開口サイズを ご提示願います。	S 造スラブの点検口箇所 ^① に適用してくだ さい。 適用箇所、開口サイズは A032 ピット 階平面図に示しています。

22.	構造図	S013	溶接基準図	裏当て金の材質について、母材の材質と同等と記載がありますが、母材の材質がSTKN490Bの場合、SN490Bと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
23.	建築図	A320	消音ルバー詳細図	A SEC に図示されている支柱 St L-100×100 について、鋼材厚さや配置箇所、長さをご指示願います。	St L-100×100×6 としてください。 A320 図 立面図+150mm の長さとしてください。
24.	建築図	A320	消音ルバー詳細図	B SEC に図示されている支柱 St L-100×100 上下納まりについて、St アングル受け金物の図示がありますが、鋼材断面寸法やボルト詳細が不明です。詳細をご提示願います。	FB-6×80, Bolt 2-M12 としてください。
25.	建築図	A320	消音ルバー詳細図	消音ルバー胴縁下地について、配置段数は下記のように考えてよろしいでしょうか。 □X5-8 間 H=1555→3 段 □X15-18 間 H=2725→5 段	宜しいです。
26.	建築図	A320	消音ルバー詳細図	消音ルバー胴縁下地について、※φ12 孔の記載がありますが、立面図の点線部が材と点線部が材の交点に見込むと考えてよろしいでしょうか。	水抜き孔のため、交点ではなく任意の位置としてください。
27.	建築図	A006	建築工事特記仕様書 3	耐火塗料について、ドーム部・ハイトドラフト部に 1 時間耐火の耐火塗料が適用となっていますが、	A619 図参照してください。

				認定番号等指定がありましたらご提示願います。	
28.	構造図 建築図	S002 A006 A551	構造関係特記仕様書-2、鉄筋コンクリート構造標準図-4、耐火被覆キープラン1	図 S002 及び A006 に耐火被覆の種類・適用箇所について記載がありますが相違しています。図 A006 を正として、A551.552.553 の範囲が該当箇所と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
29.	構造図 建築図	S002 A006 A551	構造関係特記仕様書-2、鉄筋コンクリート構造標準図-4、耐火被覆キープラン1	上記に関連して、梁接合部（PC 上部）の束柱は耐火被覆不要と考えてよろしいでしょうか。（A551 図では柱の凡例なし。）	束柱の耐火被覆は一般部と同様とし、見込んでください。
30.	建築図、 構造図	A401、 S011、 202	ハイトライト詳細図1、軸組図-2、鉄骨基準図-1	ハイトライト柱と梁の取合いについて、建築図は柱頂部に梁が配置されている図示ですが、構造図では柱に梁が剛接合する図示と相違します。構造図を優先とし、柱仕口は鉄骨基準図-1 円形鋼管柱によると考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
31.	建築図	A325 ～326	EL シャフトガラススクリーン 図 1、2	鉄骨柱に鉄骨先付材が取りついていますが、PL-9×150×150 程度で柱 1 本に対して 3 か所×2 面で見込むと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
32.	建築図	A325 ～326	EL シャフトガラススクリーン 図 1、2	鉄骨先付材に溶接されたアングルとボルトの図示がありますが、アングル材の鋼材断面寸法とボルトの径をご提示願います。	L-90×90×10、M12 としてください。
33.	構造図	S320	階段リスト	鉄骨階段について、アンカーボルト定着長は、柱脚	宜しいです。

				部、RC 梁接合部どちらの場合でも 20D と考えてよろしいでしょうか。	
34.	構造図	S320	階段リスト	鉄骨階段について、ベースプレート下ベースメタル厚は柱脚部、RC 梁接合部どちらの場合においても 30mm と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
35.	建築図 構造図	A227 ～ A229 S012	階段詳細図 1～階段詳細図 3 鉄骨基準図-2	屋内鉄骨階段 1～3 の踊り場受け材について、建築図の中間部踊り場に受け材の図示はありませんが、構造図 9.鉄骨階段要領に踊り場リブ PL(PL-6×100-@400 以内)の図示がある為、踊り場リブ PL(PL-6×100-@400 以内)を中間部踊り場に見込むと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
36.	建築図 構造図	A227 S320	階段詳細図 1 階段リスト	屋内鉄骨階段 1 の段板について、構造図ではチェッカープレート PL-4.5 ですが、建築図では PL-4.5 と記載があり相違しています。構造図の CPL-4.5 を正と考えてよろしいでしょうか。 又、屋内鉄骨階段 2 の段板もチェッカープレート PL-4.5 と考えてよろしいでしょうか。	チェッカープレートではなく PL-4.5 とし、建築図を正としてください。
37.	構造図	S103 S320	地盤改良伏図・2階基礎伏図・2階伏図 階段リスト	屋内鉄骨階段 1 について、ササは S 梁(SB30)に接合すると考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
38.	建築図	A229	階段詳細図 1	屋内鉄骨階段 3 について、建築図と構造図で	ササラ：構造図正

	構造図	S320	階段リスト	<p>下記が相違しています。全て構造図を正と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>建築図 → 構造図</p> <p>□サワ PL-28×320 → PL-36×320</p> <p>□段板 PL-4.5 → チェッカープレート PL-4.5</p>	段板：建築図正としてください。
39.	構造図	S104	M 階伏図	<p>設備架台鉄骨について、設備基礎との取合いに設けるベースメタルのサイズは下記と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>□SB20a の場合→t=30 100×100</p> <p>□SB20Wa の場合→t=30 200×200</p>	宜しいです。
40.	構造図	S104	M 階伏図	<p>設備架台鉄骨について、下記の設備架台の基礎との取合いに見込むベースメタル、アンカーボルトはSB20a、SB20Wa 1台当たり 2か所見込むと考えてよろしいでしょうか。</p>	2.5m 間隔以下かつ合計 2か所以上で設ける想定としてください。

					
41.	構造図	S501	駅前シェルター図	SC13 のベースプレート下ベースモルタルについて、厚み 50mm 見込むと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
42.	構造図	S501	駅前シェルター図	SC13 の柱脚部アンカーボルト(4-M16 SS400)について、長さは 320mm と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
43.	構造図	S501	駅前シェルター図	SG12 について、鉄骨部材リストにリストが無く詳細が不明です。SB12 と同様と考えるとよろしいでしょうか。	SG12W を正としてください。
44.	構造図	S501	駅前シェルター図	SY1.SX1-SX2 通りの梁符号について、屋根伏	SG12W を正としてください。

				図では SG12 ですが、SY1 通軸組図では SG12W であり相違しています。屋根伏図の SG12 を正と考えてよろしいでしょうか。	
45.	構造図	S011 S012 S501	鉄骨基準図-1 鉄骨基準図-2 駅前シェルター図	鉄骨部材リストのピン接合継手 TYPE について、全ての梁、ブレースの TYPE が B と記載がありますが、B が何を示しているか不明です。鉄骨基準図の要領図に倣うと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
46.	建築図	A242	シェルター詳細図	SC13 について、柱貫通部では○-139.8×6 ですが、㊲、㊳、㊴、㊵ 矢視図では○-139.8×6.5 と記載があり相違しています。SC13 は○-139.8×6 を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
47.	建築図 構造図	A242 S501	シェルター詳細図 駅前シェルター図	SB12 について、構造図では H-125×60×6×8 ですが、建築図の平面図では H-125×125×6.5×8 であり相違しています。構造図の H-125×60×6×8 を正と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
48.	設計書 建築図	F003	家具図 1	家具図共通特記事項について、「強度確認の必要なものや仕上がり具合の確認が必要なものはモックアップ 製作のこと、またモックアップ 検査費を見込むこと」と記載がありますが、設計書に家具モックアップ は計上されておりません。各家具モックアップ の詳細と明確な製作範囲、モックアップ で再利	F003 図にモックアップ製作リストを示しており、モックアップ製作費は各製品に含めている。再利用はしない。

				用するもの、あるいは製作後全撤去となるのかを項目ごとにご提示願います。	
49.	設計書	442	共通仮設費（積上分）明細	設計書共通仮設費について、モックアップ製作サイン全11種が1式で計上されていますが、サイン図にモックアップの記載はありません。モックアップの対象となるサインの詳細、明確な製作範囲、モックアップ製作後再利用もしくは全撤去となるのかを項目毎にご提示願います。	
50.	建築図	A019	外部仕上表	屋上防水、田島ルフィン [®] 、レイヤーオール工法について、型番や表面塗装の記載が無いようです。平部はFL-2・TH(非断熱・SPサモート仕上げ)、立上部はFLV-T・TH(SPサモート仕上げ)程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
51.	建築図	A069 ~076 A563	断面詳細図1 ~8 ハト小屋キープラン	屋外機械置場 改質アスファルト防水 立上部について、断面詳細図1等にセメント系厚塗補修材と記載がありますが、ハト小屋キープラン A部詳細図では薄塗りモルタル t=5 と表現が異なります。 セメント系厚塗補修材の仕様が、薄塗りモルタル t=5 と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
52.	建築図	A069 ~076	断面詳細図1 ~8	屋外機械置場 改質アスファルト防水 立上部について、断面詳細図1等にセメント系厚塗補修材と記載がありますが、防水下地がセメント系厚塗補修材	スラブから立ち上がり H=500 までとしています。

		A563	ハト小屋キープラン	(薄塗りモルタルt5)となる明確な範囲をご提示願います。	
53.	建築図	A069 ~076 A563	断面詳細図 1 ~8 ハト小屋キープラン	屋上及び屋外機械置場 改質アスファルト防水について、防水立上端部の納まり詳細が無いようです。基本的に端部に見切材とシーリングは無しと考え、ハト小屋キープラン A 部詳細より、防水立上下地がセメント系厚塗り補修材(モルタル下地程度)の場合のみ、端部シーリングとし、種別、寸法はウレタン 10×10 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
54.	建築図	A069 ~076 A238	断面詳細図 1 ~8 雑詳細図 3	屋外機械置場について、吹抜上部 RFLラインに手摺用のアゴと梁型付のアゴの図示がありますが、梁型付アゴ部分の防水範囲、水切り目地が不明確です。雑詳細図 屋上落下防止手摺詳細を準用し、アゴの鼻先と水切目地まで防水とし、水切目地は 10×10 と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
55.	建築図	A240	雑詳細図 5	屋上機械置場 ファインフロア仕様について、ノンスリップタイプ t=40 と記載がありますが、仕様は MF254 W=250×H=40 t=2.0 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
56.	建築図	A007	建築工事特記仕様書 4	塗膜防水について、特記仕様書で塗膜防水 Y-1、地下外壁防水が適用ですが、外部仕上表や断面詳細図には図示がなく施工箇所が不明です。	A007 特記仕様書 4 4 塗膜防水 Y-1 につけられている○は誤記です。地下外

		A019 A069 ～076	外部仕上表 断面詳細図 1 ～8	又、設計書にも記載がありません。ないものと考えてよろしいでしょうか。	壁防水は地下外壁自己修復性防水マットを見込んでおります。
57.	建築図	A069 ～076	断面詳細図 1 ～8	地下外壁、後付型自己修復性防水マットについて、厚さ、仕様、工法、メーカー、型番をご提示願います。	ベントナイト防水 ボルクレイ自己修復防水マット後付工法（ボルクレイジャパン）同等としています。
58.	建築図	A002 A008 A238	工事区分表 建築工事特記仕様書 5 雑詳細図 3	工事区分表について、ルフトレイン、縦樋、屋内雨水配管、屋内雨水配管防露処理、縦樋から外構雨水桝への接続が建築工事で記載がありますが、特記仕様書で樋は適用外、ドレインはオープンルフトレイン(詳細図)のみが適用で、縦樋、内樋及び防露巻、桝への接続等は図面に施工箇所の記載がなく、設計書にも記載がないようです。本工事はオープンドレインのみで縦樋、内樋及び防露巻、桝への接続管は無いものと考えてよろしいでしょうか。有の場合は材種、径、排水経路をご提示願います。	宜しいです。
59.	建築図	A002	工事区分表	工事区分表について、フオドレインが機械設備工事で記載がありますが、図面には見当たりません。材種、仕様、工事区分、設置個所をご提示願います。	該当ありません。 ○は誤記です。

60.	建築図	A019 A071	外部仕上表 断面詳細図 3	駐車場、アスファルトコンクリート t60 について、表層材種類、プライムコート仕様の記載が無いようです。断面詳細にてご提示願います。又、平面図上で明確な範囲も合せてご提示願います。	タジマ PKM-0150 同等品を想定しております。
61.	建築図	A007 A071	建築工事特記仕様書 4 断面詳細図 3	駐車場、アスファルトコンクリート下、アスファルト防水仕様について、断面詳細図 3 でアスファルト防水熱工法と記載がありますが、特記仕様書でアスファルト防水は適用外です。又、設計書ではクリーン熱工法で記載されております。クリーン熱工法は既存アスファルト露出防水の場合、採用する改修専用工法で、今回の新規土間面には不適切と考えられます。防水仕様、種別を再度ご提示願います。	タジマ PKM-0150 同等品を想定しております。
62.	建築図	A243	物置・ゴミ置場詳細図	物置・ゴミ置場について、屋根・躯体防水と記載がありますが、仕様、メーカー、型番をご提示願います。 又、設計書には屋根立上・柱立ち上がり、笠木、柱天端も躯体防水で記載されておりますが、図面では屋根のみの記載です。明確な施工範囲を図示の上でご提示願います。	タケイ工業 タケイ防水同等品です。 屋根立上・柱立ち上がり、笠木、柱天端共タケイ防水としています。
63.	建築図	A243	物置・ゴミ置場詳細図	物置・ゴミ置場について、ゴミストッカー、45L、外山工業 SH-1200 同等の記載がありますが、点線表記の為、別途工事と考えてよろしいでしょう	宜しいです。

				か。	
64.	建築図	A243	物置・ゴミ置場詳細図	物置・ゴミ置場について、水栓、換気扇、照明、脱臭機用コンセントの記載がありますが、これらは全て設備工事と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
65.	建築図	A036	R 階平面図	丸環について、設計書に SUS、70 か所記載されておりますが、図面には見当たりません。材種、寸法、仕様、設置個所をご提示願います。	A232-2 RF 金物キープランに図示してあります。@5000 程度でパラペット立上り部に設置しています。
66.	建築図	A036	R 階平面図	設備基礎類について、屋上にソーラーパネルの記載がありますが、架台や RC 基礎の寸法、詳細、設置数など図面に見当たりません。ソーラーパネル・架台・基礎それぞれの工事区分も含め、ご提示願います。	E135 図 太陽光設備架台構造図に示しています。設備基礎は不要です。
67.	建築図	A036 A239	各階平面図 雑詳細図 4	設備基礎類について、屋上ソーラーパネル以外の屋外機器置場、階段の基壇など、設備基礎の寸法、数量、設置個所の図示が無いようです。雑詳細図 4 にべた機械基礎の詳細はありますが、アコ付基礎も有ればその詳細や使い分け、各階基礎の寸法(W×D×H)、設置個所、基礎詳細を各階平面図、詳細図に図示の上、ご提示願います。	設備基礎は A054 平面詳細図～に示しています。階段基壇は A225 屋外階段詳細図に示しています。
68.	建築図	A049、 230-2	2 階平面詳細図 3 階段詳細図 5	2 階平面詳細図 3 について、風除室 2 前に階段の図示がありますが、該当する階段詳細は階段詳細図 5 の 2F 屋外階段 4 と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

69.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、防火区画部、遮音部、遮音/防火区画部を除く一般間仕切のボードは全て天井迄と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
70.	建築図	A020	内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F1・浸透性防塵塗装と記載がありますが、仕様は、浸透性強化材 溶液散布工法 ABC 商会:セラミキュア程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
71.	建築図	A020	内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F2・浸透性コンクリート表面強化材と記載がありますが、仕様は、ABC 商会:シケトハードナー JP 程度と考えてよろしいでしょうか。	シールハード C-21 (シーゲイト) 同等で見込んでおります。
72.	建築図	A020 A023 ~ A030	内部仕上リスト 1 内部仕上表 1~8	床仕上リストについて、F2・浸透性コンクリート表面強化材と記載がありますが、仕上表床仕上げに F2 記号の記載がありません。床仕上リスト・F2 の適用範囲をご提示願います。	A023 内部仕上表 1 活動室調理系、A0461 平面詳細図 5 に示しています。
73.	建築図	A010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F3・長尺塩ビシート t2 と記載がありますが、特記仕様書より、特殊機能が帯電防止・防滑性・耐薬品性の 3 種類適用の図示があります。メーカー・型番は東リ:耐薬スパー K シート NW 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
74.	建築図	A010	特記仕様書 7	内部仕上表について、水廻り室(子供用トイレ、授乳室、トイレ、トイレ廊下、多機能トイレ、LGBTQトイレ、	宜しいです。

		A020	内部仕上リスト 1	SK、給湯室)の床仕上は F3・長尺塩ビシートとなっていますが、水廻り室には、特記仕様書・特殊機能の帯電防止・耐薬品性は不要と考えてよろしいでしょうか。	
		A023 ～ A030	内部仕上表 1～8		
75.	建築図	A010	特記仕様書 7		内部仕上表について、水廻り室(子供用トイレ、授乳室、トイレ、トイレ廊下、多機能トイレ、LGBTQトイレ、SK、給湯室)の床仕上 F3・長尺塩ビシートのメーカー・型番は、東リ:消臭 NS トイレ NW 程度と考えてよろしいでしょうか。
		A020	内部仕上リスト 1		
		A023 ～ A030	内部仕上表 1～8		
76.	建築図 設計書	A020	内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、鋼製床下地組の図示がありますが、メーカー・品番は、桐井製作所:GT クイーン、GT ダイレクト スタンダードタイプ 程度と考えてよろしいでしょうか。	
77.	建築図	A010	特記仕様書 7	床仕上リストについて、タイルカーペット t9 と記載がありますが、仕様は、t9.0 模様流し 東リ:GX-200 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
		A020	内部仕上リスト 1		
78.	建築図	A011	特記仕様書 8	床仕上リストについて、鋼製 OA フロア(5KN/m ²)と記載がありますが、仕様は、特記仕様書より、重量型 5000N 耐震 500kg/m ² 1.0G スチール製無機質充填 加工業:AZ-5000DP 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
		A020	内部仕上リスト 1		

79.	建築図	A011 A020	特記仕様書 8 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、鋼製 OA フォア下 RC 面に防塵塗装記載がありますが、仕様は、ローテ塗布 (またはスプレー) 工法 ABC 商会 OA クリアコート程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
80.	建築図	A020	内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F4 タイルハット・下地 j の OA フォア下に防塵塗装の図示がありません。F5、F6 同様に OA フォア下に防塵塗装を見込むと考えてよろしいでしょうか。	不要です。
81.	建築図	A010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F5・タイルハット t6.5 と記載がありますが、仕様は、t6.5 模様流し 東リ:GA-100 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
82.	建築図	A020	内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F6 複合フローリング 下地 h と i で補強鋼板 t4.5 の図示がありますが、補強鉄板の材種はスチールと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
83.	建築図	A020	内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F6 複合フローリング 下地 j で鋼製 OA フォアにフローリングを直張するような図示ですが、フローリング下に捨張ワン合板 t=12 を見込むと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
84.	建築図	A010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F7・複層ビニル床シート t2 と記載がありますが、メーカー・品番は、東リ:ノンワックスレーム NW 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
85.	建築図	A009	特記仕様書 6	床仕上リストについて、F7 の d 下地でセフレベリング材の図示がありますが、特記仕様書・左官工	宜しいです。

		A020	内部仕上リスト 1	事にセルフベリングの記載がありません。セルフベリングは設計書よりセメント系と考えてよろしいでしょうか。	
86.	建築図	A010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F9・畳の仕様は、特記仕様書より、t=55 わら畳 国土交通省仕様 A 種 JIS 表示品 一帖物 防虫加工共と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
87.	建築図	A010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F10・タイルカーペットの厚さは t10.5 と記載がありますが、特記仕様書では厚さ 10mm が適用となっています。F10・タイルカーペットの厚さは特記仕様書を優先と考えてよろしいでしょうか。	10mm が正です。
88.	建築図	A010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	床仕上リスト及び特記仕様書について、F10・タイルカーペットのメーカー・品番は、東リ:DC-1100(ガスコントロールカーペット)程度と考えてよろしいでしょうか。	スクエア 2400 ソワレ (東リ) 同等で想定しています。
89.	建築図	A010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	特記仕様書について、内装工事・ビニル幅木は硬質 H40 が適用となっていますが、内部仕上リストには H60 と H300 の図示があります。H60 と H300 の材質は軟質と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
90.	建築図	A020	内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、SUS 巾木 t1.5H300 の図示がありますが、仕様は、SUS t1.5 HL FB タイプ 糊張と考えてよろしいでしょうか。	SUS 切板 接着貼 としてください。

91.	建築図	A008 A020	特記仕様書 5 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、木巾木 t12 H40・75 の図示がありますが、特記仕様書に樹種の記載がありません。巾木の樹種は材材と考えてよろしいでしょうか。	国産杉(白) 無節 としてください。
92.	建築図	A-010 A020	特記仕様書 7 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、木巾木 t12 H40・75 の図示がありますが、塗装についての記載がありません。木巾木の表面塗装は OSCL 3 回塗り(オイルステインクリヤック)と考えてよろしいでしょうか。	無塗装としてください。
93.	建築図	A011 A020	特記仕様書 8 内部仕上リスト 1	床仕上リストについて、F8・アルミ製ブラシ付マット t22 の図示がありますが、参考メーカー・品番をご提示願います。	ブラシマット B-22 (ミツシマ工業) 同等でお願いします。
94.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W2・撥水剤塗布(カークリヤ)のメーカー・品番は、大日技研工業:ラテックスコート WS A 工法程度と考えてよろしいでしょうか。	ラテックスコート WS B (艶消) (大日技研工業) 同等でお願いします。
95.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W8・撥水剤塗布のメーカー・品番は、エスケ化研:マイクロガード 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
96.	建築図	A009 A021	特記仕様書 6 内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W3・塗装仕上材(ジヨリパット同等品)と記載がありますが、特記仕様書・左官工事に仕上げの形状についての記載がありません。ジヨリパットの仕様は、厚付 JP-100 標準タイプ 吹付工法・ゆず肌仕上と考えてよろしいでしょうか。	ジヨリパット 材 JQ-650 ロック (アイカ) 同等 としてください。

97.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、下地符号:i(水廻り部)のボードは GB-S t12.5+12.5 と記載がありますが、下張り・上張り共に GB-S との考えでよろしいでしょうか。	宜しいです。
98.	設計書 建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W5・ボードシート貼り下地 St PLt1.6 の図示がありますが、コンクリート面及びボード面への施工方法は、設計書より接着張りと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。ただしパテ処理等不陸の調整は行うこととしてください。
99.	設計書 建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W5・ボードシート貼り(目地 金属パテ処理)と記載がありますが、金属パテ処理は設計書より@2000 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
100.	建築図	A010 A021	特記仕様書 7 内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W6・マシン不燃化粧板 t3 と記載がありますが、メーカー品番は、アパ工業:セール程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
101.	建築図	A010 A021	特記仕様書 7 内部仕上リスト 2	特記仕様書について、塗装工事・シケート塗装の RC 面の種別は染色ですが、壁仕上リスト W11 では、塗り潰しとなっています。RC 面の種別は、壁仕上リストより、塗り潰しを準用と考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書の※は適要にあたります。 A004 特記仕様書 1 工事仕様 II-3 参照 染色も塗り潰しもコンクリート面であります。仕上記号の通りで問題ありません。
102.	設計書 建築図	A021	内部仕上リスト 2	設計書について、塗装工事・内部にシケート塗装・モルタル面が計上されていますが、壁仕上リストにモルタル面にシケート塗装の詳細がありません。該当する	X15 通り付近にある子供用 WC 授乳室の外壁仕上が内部にも採用しています。

				仕上範囲をご提示願います。	
103.	建築図	A010 A021	特記仕様書 7 内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W11・シケート塗装のメーカー・品番は、カイクンクリタル 内装用 吹付工法程度と考えるとよろしいでしょうか。	塗り潰しは BEECK 同等、着色はコンクレッタール（カイクム）同等としてください。
104.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W9・薄手ガラスクロス巻ガラスボードの建具等開口部及び壁端部に、t=50 コ型 塩ビの仕様で見切り材を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
105.	建築図	A021 A413 A414	内部仕上リスト 2 収蔵庫詳細図 8 収蔵庫詳細図 9	壁仕上リストについて、W7A・B(収蔵庫)の壁仕上げは、無機質系中性調湿板 t8・9.5 となっていますが、無機質系中性調湿板の材種や表面処理、参考メーカー・品番等あれば、ご提示願います。	<特別収蔵庫>キュアライト 厚み：t8m 品番：CLTS-220a 表面処理：素地仕上げ（クマヒラ）同等品 <一般収蔵庫・前室兼撮影室>やさしい壁厚み：t9.5mm 表面処理：素地仕上げ（MU マテックス）同等品として下さい。
106.	建築図	A021 A413	内部仕上リスト 3 収蔵庫詳細図 8	天井仕上リストについて、C4(特別収蔵庫)の天井仕上は、ロックール系調湿板 t9 となっていますが、参考メーカー・品番があればご提示願います。	クリアトーン 9 303mm×606mm（大建工業）同等品として下さい。
107.	建築図	A021 A022 A413	内部仕上リスト 2 内部仕上リスト 3 収蔵庫詳細図 8	収蔵庫詳細図について、壁及び天井下地に木質系不透湿板 t12(両面アルミフィルム貼)と記載がありますが、木質系不透湿板の基材の材種等の詳細又は、参考メーカー・品番があればご提示願います。	パーティクルボード 12mm 厚として下さい。

		A414	収蔵庫詳細図 9		
108.	建築図	A010 A022 A413	特記仕様書 7 内部仕上リスト 3 収蔵庫詳細図 8	特別収蔵庫詳細図について、天井仕上ロックール系調湿板の厚さは t9 ですが、特記仕様書では t12.5 が適用となっています。ロックール系調湿板の厚さは特別収蔵庫詳細図を正と考えてよろしいでしょうか。	特別収蔵庫詳細図を正としてください。
109.	建築図	A413 A414	収蔵庫詳細図 8 収蔵庫詳細図 9	収蔵庫詳細図仕様表について、隙間処理アルテープと記載がありますが、アルテープの幅と厚さをご提示願います。	アルミクラフトテープ W50 幅： 50mm 厚み 0.140mm（マクセル）同等品として下さい。
110.	建築図	A011	特記仕様書 8	特記仕様書・エット及びその他工事について、コーナー・アルミ押出型材差込型・焼付適用の図示がありますが、焼付塗装の種別をご提示願います。	フッ素焼付塗装としてください。
111.	建築図	A011	特記仕様書 8	特記仕様書・エット及びその他工事について、コーナー・アルミ押出型材差込型適用の図示がありますが、コーナーの寸法は、L-25×25 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。ボード部コーナーに設置します。
112.	建築図	A010 A022	特記仕様書 7 内部仕上リスト 3	天井仕上リストについて、岩綿吸音板の厚さは t12.5 となっていますが、特記仕様書では t12 が適用となっています。岩綿吸音板の厚さは t12 が一般的な為、特記仕様書を準用と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

113.	建築図	A010 A022	特記仕様書 7 内部仕上リスト 3	天井仕上リストについて、C7・岩綿吸音板の記載がありますが、メーカー・品番は、大建工業:ダイトン程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
114.	建築図	A022	内部仕上リスト 3	天井仕上リストについて、C6・アルミ [®] 祢の天井下地は LGS(耐風圧仕様)と記載がありますが、野縁の種類、耐風圧仕様(Pa 数)等の詳細をご提示願います。	桐井製作所 耐風圧天井 TOBAN 2000pa 同等として下さい。
115.	建築図	A002	工事区分表	工事区分表について、建築 48.空調床吹出・吸込口の角型は建築工事、丸型は機械工事となっています。角型は平面詳細図・天井伏図に図示がありますが、丸型の図示はありません。加工費算出の為、吹出口・吸込口丸型の径ごとの数量、適用箇所の分かる資料をご提示願います。	M201 空調換気設備変風量装置/制気口 リスト に示しています。
116.	建築図	A002 F001 F002	工事区分表 1 階家具キープラン 2 階家具キープラン	工事区分表について、サイン 5.既存木製図書館家具整備・搬入・取付と 7.新規家具整備・搬入・取付は備品 A 工事と記載がありますが、該当する家具はそれぞれ、サイン 5.既存木製図書館家具は家具キープラン:家具工事 2、サイン 7.新規家具は家具キープラン:家具工事 1 と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
117.	建築図	A002	工事区分表	工事区分表について、サイン 5 を家具キープラン:家具工事 2、サイン 7 を家具キープラン:家具工事 1 とした場合、家具キープラン凡例:黄・緑の家具は全て建築	別途工事と考えて宜しいです。

		F001	1階家具キープラン	本体工事対象外(別途工事)と考えてよろしいでしょうか。建築工事となる場合は、家具それぞれの詳細をご提示願います。	
		F002	2階家具キープラン		
118.	設計書 建築図	A007	特記仕様書 4	特記仕様書防水工事について、塗膜防水は Y-1 と Y-2 に適用の図示がありますが、設計書・防水工事に Y-1 仕様が記載されておりません。地下外壁防水は、特記仕様書の通り、塗膜防水 Y-1 仕様とすると考えてよろしいでしょうか。	A007 特記仕様書 4 4 塗膜防水 Y-1 につけられている○は誤記です。地下外壁防水は地下外壁自己修復性防水マットを見込んでおります。
119.	建築図	A070	断面詳細図 2	断面詳細図について、地下外壁の仕上げは、後付型自己修復性防水マットと記載がありますが、マットの厚さ・工法等の詳細及びメーカー・品番をご提示願います。	ベントナイト防水 ボルクレイ自己修復防水マット後付工法(ボルクレイジャパン) 同等品をお願いします。
120.	建築図	A201 A202	水廻り平面詳細図 1 水廻り平面詳細図 2	水廻り平面詳細図について、建築機器リストの記載がありますが、建築機器リストに記載の無い機器(紙巻器、多機能トイレ L 型手摺・跳ね上げ手摺等)は設備工事とし、下地補強はのみを建築工事で見込むものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
121.	建築図	A201	水廻り平面詳細図	水廻り平面詳細図の建築機器リストについて、ベンチア、手摺等の備考欄に下地補強共と記載がありますが、下地補強の材種、厚さはワン合板 I 類 t=12 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
122.	建築図	A201、 236	水廻り平面詳細図	水廻り平面詳細図、雑詳細図 1 について、男性トイレ 1、2 の小便器部に汚垂タイル t6 と記載があり	宜しいです。

			1 雑詳細図 1	ますが、仕様は TOTO:ハイト・セラ・フロア PU(薄型)程度と考えるとよろしいでしょうか。	
123.	建築図	A201 ~212	水廻り平面詳細図、 展開図	水廻り平面詳細図、展開図について、各トイレの小便器、大便器、SK 部にライング壁の記載がありますが、下地、仕上げは LGS65+GB・St12.5+12.5+マシ不燃化粧板 t3 と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
124.	建築図	A025、 026、 027	内部仕上表	仕上表について、壁仕上げにマシ不燃化粧板 t3 と記載がありますが、出隅、入隅の納まりはアルジョイナーと考えるとよろしいでしょうか。	出隅はアルミジョイナーとし、入隅は不要です。
125.	建築図	A214- 1	サイルトルム詳細図 1	サイルトルム詳細図・平面詳細図について、ローボーイが実線で示されていますが、工事区分は設備工事と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
126.	設計書 建築図	A216	ドーム廻り断面詳細図	ドーム廻り断面詳細図・座席部 C 部拡大詳細図について、あと施工アンカー M12 及び段板埋込支持金物が示されていますが、設計書・ドーム上階段席に記載されておりません。それぞれ建築工事にて見込むものと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
127.	建築図	A236	雑詳細図 1	雑詳細図・ドーム天部非常用照明について、LED 非常用照明 φ160 の工事区分は設備工事と考えるとよろしいでしょうか。	器具自体は設備工事とし、凹みの作成は建築工事とします。
128.	建築図	A240	雑詳細図 5	雑詳細図・作業室 A 二槽シンクについて、水栓を	水栓は設備工事、二槽シンク本体やシンクの開

				含めて建築工事と考えてよろしいでしょうか。	口等は建築工事とします。
129.	建築図	A240	雑詳細図 5	雑詳細図・作業室 B 洗面カウンターについて、ベッセル式手洗器φ350と水栓を含めて建築工事と考えてよろしいでしょうか。	水栓と洗面器は設備工事、カウンター本体とその開口等は建築工事とします。
130.	建築図	A241-1	雑詳細図 6	雑詳細図・授乳室 2 ベンチについて、木専用ゴミ箱は寸法・メーカーの記載がありますが、点線(備品)となっています。木専用ゴミ箱は別途工事と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
131.	建築図	A241-1	雑詳細図 6	雑詳細図・返却ボックスについて、ブックトラックはメーカー・品番の記載がありますが、点線図示となっています。ブックトラックは建築工事にて見込むものと考えてよろしいでしょうか。	別途工事です。
132.	設計書	153	建築工事 細目別内訳	設計書・エント及びその他工事について、企画展示室加球エント:スチールメッキ品 T 字十字交差部が 7 か所計上されていますが、建築図に記載がありません。加球エントの詳細と適用箇所をご提示願います。	
133.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、軽量鉄骨壁下地の高さの記載がありませんが、全てスラブまでと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
134.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	壁仕上リストについて、W5e は防火区画部ですので、GB-Rt12.5+12.5 を GB-Ft12.5+12.5 に読み替えると考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

135.	建築図	A021	耐火リスト・構造詳細 図 内部仕上リスト 2	壁リストについて、耐火間仕切壁 GB- Ft12.5+12.5 はボード構成と認定番号より吉野 石膏:S12 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
136.	建築図	A021 A218 A619	耐火リスト・構造詳細 図 建具詳細図 1 内部仕上リスト 2	耐火間仕切壁について、耐火リストに強化石膏ボ ード t21+21 片面張と記載がありますが、壁仕上 リストには図示が無いようです。建具詳細図よりシ ャッター上部に見込むと考えてよろしいでしょ うか。	宜しいです。
137.	建築図	A218 A619	建具詳細図 1 耐火リスト・構造詳細 図	耐火間仕切壁について、強化石膏ボード t21+21 片面張がシャッター上部に見込む場合、ボ ード構成と認定番号より吉野石膏:Sウォール標準仕 様程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
138.	建築図	A218 A619	建具詳細図 1 耐火リスト・構造詳細 図	シャッター上部の片面耐火壁の壁下地について、建 具詳細図で□-100×100×2.3 ですが、耐火リスト では LGS 下地と相違します。 シャッター上部の片面耐火壁の壁下地は耐火リストを 優先とし、LGS100 を見込むと考えてよろしい でしょうか。	シャッター下地は□-100×100×2.3、 壁下地は LGS100 としてください。
139.	建築図	A021 A619	耐火リスト・構造詳細 図	耐火遮音間仕切壁について、耐火リストと壁仕上 リストでボード構成が相違します。	A201 内部仕上リストを優先してくださ い。

			内部仕上リスト 2	壁仕上リストを優先とし、GB-Ft12.5+12.5(吉野石膏:S12・WI 程度又は S12・WI 敷目板目透かしタイプ 程度)と考えてよろしいでしょうか。	
140.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	耐火壁が梁下になる場合、梁取合部に通し材:L-30×30×3 程度とビースタングル:L200@450 程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
141.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	耐火壁が梁中心から間仕切芯までが 1000mm 以下の場合、梁取合部に梁持出金物:C-60×1.6@450 程度(メタルス共)と通し材:L-30×30×3 程度とビースタングル:L200@450 程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	スラブまで伸ばすことも含めて適宜ご判断ください。
142.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	遮音壁と耐火遮音壁が梁下になる場合、梁取合部に捨てプレート:FB-6×80 と遮音用チャンネル:C-60×30×10×2.3 2 本 1 組程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
143.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	遮音壁と耐火遮音壁が梁中心から間仕切芯までが 1000mm 以下の場合、梁取合部に捨てプレート:FB-6×80 と遮音用チャンネル:C-60×30×10×2.3 2 本 1 組程度と遮音プレート:t=2.3×2 W=1000 程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	スラブまで伸ばすことも含めて適宜ご判断ください。
144.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	一般間仕切壁が梁下になる場合、梁取合部に通し材:L-30×30×3 程度とビースタングル	宜しいです。

				ル:L200@450 程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	
145.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	一般間仕切壁が梁中心から間仕切芯までが1000mm 以下の場合、梁取合部に梁持出金物:C-60×1.6@450 程度と通し材:L-30×30×3 程度とヒースングル:L200@450 程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	スラブまで伸ばすことも含めて適宜ご判断ください。
146.	建築図	A021	内部仕上リスト 2	一般間仕切壁がスラブ下断熱に取合う場合、取合部に通し材:C-60×30×2.3 程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	工程の工夫等も含め適宜ご判断ください。
147.	建築図	A043	1 階平面詳細図 1・2・4	平面詳細図について、SWD1-11、SWD1-12、SWD1-13、SWD1-23、SWD1-24、SWD1-25、SWD1-26、SWD1-27、SWD1-29、SWD1-30、SWD1-34、SWD1-35、SWD1-36、SWD1-37 上部に W4d を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
148.	建築図	A420 ～ A422	スライディングウォール詳細図 1～3	スライディングウォールについて、上部に遮音壁の図示が無いようですが、不要と考えるとよろしいでしょうか。必要な場合は壁種別をご提示願います。	不要です。
149.	建築図	A554	乾式壁補強範囲図	乾式壁 H5000 以上範囲について、鉄骨補強口-100×100@3000 の図示がありますが、厚さは t3.2 程度と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。

150.	建築図	A554	乾式壁補強範囲図	乾式壁 H5000 以上範囲について、鉄骨補強口 -100×100@3000 の図示がありますが、縦軸横軸共に見込むと考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
151.	建築図	A041 A554	断面図 乾式壁補強範囲図	断面図について、1階の空調機械室等床レベルが 1FL-850 で乾式壁高さが階高 4420+850 となる為、H5000 を越えますが、乾式壁補強範囲図には図示が無いようです。乾式壁補強範囲図に図示が無い部分が H5000 を超える場合についても乾式壁補強材を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	1FL-850 スラブ天-2 FL スラブ下端までは 4870 ですので H5000 は超えないため、不要です。
152.	建築図	A021 A046	内部仕上り表 2 1階平面詳細図 5	平面詳細図について、多機能トイレの壁符号は W4d ですが、グラスウール充填の様な図示の為、W4f に読み替えるかと考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
153.	建築図	A011 A559	特記仕様書 8 断熱範囲図	断熱範囲図について、後張式壁断熱排水パネルの図示がありますが、参考品番はデュポン・スタイロトレイターパネル程度と考えるとよろしいでしょうか。	宜しいです。
154.	建築図	A559	断熱範囲図	スラブ下面の現場発泡ウレタン吹付で、現場発泡ウレタンの火災防止の為、スラブ下面とスラブ下面に取合う外壁面 30cm 程度立下げに防火コート t3 グランセラボロン#25D 程度を見込むと考えるとよろしいでしょうか。	施工工程も含め適宜ご判断ください。
155.	建築図	A002	工事区分表	工事区分について、チャンバーボックスについての記載がありませんが、設備工事と考えるとよろしい	設備工事です。

				<p>でしょうか。又、建築工事となる場合は下記の通りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>□スチール製 t=1.6 曲げ加工 W×H(ガリ寸法) 奥行 D=200 グラウト吹付 t=5.0 程度</p>	
156.	建築図	A121	建具特記	<p>外部建具枠廻りシーリングについて、特記なき限り外壁 RC 部に取付く建具枠廻りシーリングは、変成シリコン 15×10(MS-2)程度と考えてよろしいでしょうか。</p>	宜しいです。
157.	建築図	A126	外部建具表 1	<p>建具寸法について、外部建具表 1 SWD-E2-2 は W5280 と記載がありますが、姿図では W5288 と相違します。姿図を優先とし、W5288 と考えてよろしいでしょうか。</p>	W5288 が正です。
158.	建築図	A046 A122	1 階平面詳細図 5 1 階外部建具キープラン	<p>建具数量について、1 階平面詳細図 5 より X20 通りの建具は、AW-E1-3a・AW-E1-3b ですが、1 階外部建具キープランでは SW-E1-3b、AWD-E1-3a、SW-E1-3b と相違します。建具符号はキープランを優先と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>又、上記建具以外も同様に、平面詳細図とキープランで建具符号が相違する場合は、キープランを優先と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。 キープランを正としてください。</p>
159.	建築図	A123	2 階外部建具キープラン	<p>建具数量について、2 階外部建具キープランに SS-</p>	設計書 本体棟 建具 シャッター(外

			ン	<p>E2-9 がありますが、金抜き設計書では該当建具が見当たりません。建築図を優先とし、SS-E2-9 を見込んでよろしいでしょうか。</p> <p>又、上記建具以外も同様に数量が相違する場合は、建築図を優先と考えてよろしいでしょうか。</p>	部) 2 項目に示しています。
160.	建築図	A602	2 階法チェック図	<p>防火性能について、外部建具表 1 SW-E2-4b(SSD で質疑中)は非防火設備ですが、2 階法チェック図では特定防火設備 2 号と相違します。法チェック図を優先とし、特定防火設備 2 号と考えてよろしいでしょうか。</p>	宜しいです。
161.	建築図	A126	外部建具表 1	<p>アルミ製建具について、外部建具表 1 AW-E1-14 はすべり出し窓と記載がありますが、姿図では突出し窓の凡例と相違します。姿図を優先とし、突出し窓と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>又、上記建具以外も同様に、形式欄と姿図が相違する場合は姿図を優先と考えてよろしいでしょうか。</p>	突出し窓が正です。
162.	建築図	A009	建築工事特記仕様書 6	<p>鋼製/軽量鋼製/ステンレス製建具について、特記仕様書 6 に簡易気密型に適用の印がありますが、建具表に SAT の記載のある建具性能は気密性 A-</p>	宜しいです。

				3、水密性 W-1 で枠四周にシリコン [®] ソジゴム程度を見込んでよろしいでしょうか。	
163.	建築図	A141	内部建具表 7	鋼製建具について、内部建具表 7 SW-1-33 に枠材質、仕上げ、見込の記載がありませんが、下記の通りと考えてよろしいでしょうか。 □スチール製 SOP 塗 見込 40 程度	A325,326 EV シャフトガラススクリーン図 に示しています。
164.	建築図	A122	1 階外部建具キャブレーション	鋼製建具について、1 階外部建具キャブレーション SWD-E1-1 は風除室内部側に取付く為、内部建具と考えてよろしいでしょうか。 又、上記建具以外も同様に、内部側に取付く建具は内部建具と考えてよろしいでしょうか。	外部建具に準ずる仕様としてください。
165.	建築図	A214-2 A214-3	サイレントルーム詳細図 2 サイレントルーム詳細図 3	鋼製建具について、サイレントルーム詳細図 2、3 SWD-2-26a～SWD-2-26b 間に St パンチングメタル t=1.6 フッ素樹脂焼付塗装と記載がありますが、金抜き設計書 P113 では記載が見当たりません。 サイレントルーム詳細図の通り、St パンチングメタルを建具工事で見込んでよろしいでしょうか。	宜しいです。
166.	建築図	A126	外部建具表 1	鋼製建具について、外部建具表 1 SW-E1-3b は両袖 FIX ですが、間に AWD-E1-3a が取付く為それぞれ①SW-E1-3ba ②SW-E1-3bb と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。

167.	建築図	A126	外部建具表 1	鋼製/ステンレス製建具について、外部建具表 1 SW-E2-4b の材質はステンレスですが、建具符号は SW でスチール製と相違します。上記建具は、ステンレス製建具 SSD-E2-4b と読み替えてよろしいでしょうか。	ステンレス製建具としてください。
168.	建築図	A009	建築工事特記仕様書 6	自動ドアについて、特記仕様書 6 自動ドア開閉機構欄に補助機構についての記載がありませんが、全ての自動ドアにパニックオープン機構を見込んでよろしいでしょうか。	宜しいです。
169.	建築図	A126	外部建具表 1	シャッターについて、外部建具表 1 に SS-E2-7 がありますが、下記の通りと考えてよろしいでしょうか。 ①シャッターボックス:スラットと同材種同仕上げ②シャッター三方枠:スチール t=1.6 曲げ加工 スラットと同仕上げ ③ガイドレール・マグサ・座板:ステンレス HL 仕上げ④シャッター下部床見切:ステンレス HL 仕上げ FB-5×10⑤シャッター受下地無し⑥ガイドレールカバー:スチール t=1.6 フッ素樹脂焼付塗装 200×80+100×80 程度	① 宜しいです。 ② 宜しいです。 ③ 宜しいです。 ④ 宜しいです。 ⑤ 宜しいです。 ⑥ 宜しいです。
170.	建築図	A127	外部建具表 2	シャッターについて、外部建具表 2 に SS-E2-9 がありますが、下記の通りと考えてよろしいでしょうか。	① 宜しいです。 隠蔽部は塗装不要です。 ② SUS t=1.5 鏡面仕上 ③ 宜しいです。

				<p>①シャッターボックス:スラットと同材種同仕上げ②シャッター三方枠:スチール t=1.6 曲げ加工 スラットと同仕上げ</p> <p>③ガイドレール・マグサ・座板:ステンス HL 仕上げ④シャッター下部床見切:ステンス HL 仕上げ FB-5×10⑤シャッター受下地:部材□-100×100×2.3/横材 2 段/吊材@900⑥ガイドレールカバー無し</p>	<p>④ 宜しいです。</p> <p>⑤ 宜しいです。</p> <p>⑥ SUS t=1.5 鏡面仕上</p>
171.	建築図	A142	内部建具表 8	<p>シャッターについて、内部建具表 8 に SS-2-2 がありますが、下記の通りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>①シャッターボックス:スラットと同材種同仕上げ②シャッター三方枠:スチール t=1.6 曲げ加工 スラットと同仕上げ</p> <p>③ガイドレール・マグサ・座板:ステンス HL 仕上げ④シャッター下部床見切:ステンス HL 仕上げ FB-5×10⑤シャッター受下地:部材□-100×100×2.3/横材 2 段/吊材@900⑥ガイドレールカバー: スチール t=1.6 SOP 塗 150×80 程度</p>	<p>① 宜しいです。 隠蔽部は塗装不要です。</p> <p>② 宜しいです。</p> <p>③ 宜しいです。</p> <p>④ 宜しいです。</p> <p>⑤ 宜しいです。</p> <p>⑥ 宜しいです。</p>
172.	建築図	A126	内部建具表 8	<p>シートシャッターについて、内部建具表 8 FS-1-1～FS-2-1 は高速シートシャッターと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>高速でなくても良いです。</p>
173.	建築図	A126	内部建具表 8	<p>シートシャッターについて、内部建具表 8 FS-1-1～FS-2-1 のスラット部分はシートと思われますが、シートの種類をご提示願います。</p>	<p>樹脂コーティング耐熱ガラスクロス t=0.7mm</p>

174.	建築図	A218 A219	建具詳細図 1 建具詳細図 2	<p>シートシャッターについて、建具詳細図より、下記の通りと考えてよろしいでしょうか。又、詳細図に無い FS-1-1 も同様の納まりと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>①シャッターボックス:スチール t=1.6 SOP 塗②シャッター三方枠無し③ガイドレール:ステンレス 鏡面仕上げ④マグサ:ステンレス HL 仕上げ⑤シャッター下部床見切:ステンレス HL 仕上げ FB-5×10⑥受下地:部材口-100×100×2.3/横材 2 段/吊材@900⑦ガイドレールカバー無し</p>	<p>① 宜しいです。 ② 宜しいです。 ③ 宜しいです。 ④ 宜しいです。 ⑤ 宜しいです。 ⑥ 宜しいです。 ⑦ 宜しいです。</p>
175.	建築図	A126 A308	外部建具表 1 外部鋼製建具詳細図 8	<p>ガラスについて、外部建具表 1 SWD-E1-1 ガラス欄に FL10、TPG8 と記載がありますが、外部建具詳細図 8/風室 1 矩計図位置 南面外観姿図では FL10、FL10 とガラス種別や厚さが相違します。ガラスは建具表を優先と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>又、上記建具以外も同様に、建具表と詳細図でガラスが相違する場合は、建具表を優先と考えてよろしいでしょうか。</p>	建具表姿図を正とします。
176.	建築図	A126	外部建具表 1	ガラスについて、外部建具表 1 SWD-E1-2 ガラス欄に FL/10・12 と記載がありますが、姿図では TPG8/FL10・12 と相違します。ガラスは姿図を優	建具表姿図を正とします。

				<p>先と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>又、上記建具以外も同様に、建具表と姿図でガラスが相違する場合は、姿図を優先と考えてよろしいでしょうか。</p>	
177.	<p>建築図</p>	A126	外部建具表 1	<p>ガラスについて、外部建具表 1 SD-E1-4 は非防火設備ですが、ガラスは FWC:網入型板ガラスです。建具表の通り、非防火設備で網入ガラスを適用と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>又、上記建具以外も同様の場合、建具表の通りと考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>非防火設備 で網入ガラスとしてください。</p>
178.	<p>建築図</p>	A311	外部鋼製建具詳細図 1	<p>建具金物について、外部鋼製建具詳細図 1/X19 通り南面 SWG/E2-6・風除室 1 自動ドア扉部分縦断面図の SWD-W1-2 下部に先埋込ファスターと記載がありますが、部材・ピッチ・材種・断面寸法・建具工事を含むかどうかをご教示願います。</p> <p>又、上記建具以外の各ファスターについても併せてご教示願います。</p>	<p>建具工事に含みます。</p> <p>施工方法等製作メーカーと協議の上適宜ご判断ください。</p>
179.	<p>建築図</p> <p>設計書</p>	<p>A126</p> <p>P101</p>	外部建具表 1	<p>建具仕上げについて、外部建具表 1 AWD-W1-3a 等仕上げ欄に AN(凡例よりアルミニウム焼付塗装)と記載がありますが、金抜き設計書 P101 では BB-2 種と相違します。設計書を優先とし、</p>	<p>宜しいです。</p>

				<p>BB-2 種に読み替えてよろしいでしょうか。</p> <p>又、上記建具以外(TP、AG)で AN の場合も BB-2 種と考えてよろしいでしょうか。</p>	
180.	<p>建築図 設計書</p>	<p>A126 P101</p>	外部建具表 1	<p>前述質疑について、AN(アルミニウム焼付塗装)が正の場合、一般的に①フッ素樹脂焼付塗装②アクリル樹脂焼付塗装③マリン樹脂焼付塗装 がありますので、焼付塗装の種類をご提示願います。</p>	<p>アルミ製建具に焼付塗装はありません。</p>
181.	建築図	A126	外部建具表 1	<p>建具仕上げについて、外部建具表 1 SD-E1-4 等仕上げ欄に FP(凡例よりフッ素樹脂系塗装)と記載がありますが、フッ素樹脂系塗装とは耐候性塗料(DP)1 級と考えてよろしいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
182.	建築図	A126	外部建具表 1	<p>建具仕上げについて、外部建具表 1 SW-E2-1 仕上げ欄に EP と記載がありますが、耐候性が低く、一般的に外部建具には使用されないかと思われしますので、耐候性塗料(DP)1 級と読み替えてよろしいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
183.	建築図	A310	外部鋼製建具詳細図 10	<p>建具仕上げについて、外部鋼製建具詳細図 10/SWG/E2-3 西面風除室 1 から外れた無目縦断面図より SWD-E1-2 上部にアルミスパンドレルパネル工場フッ素樹脂塗装仕上げと記載がありますが、フッ素樹脂焼付塗装のことと考えてよろしいでしょうか。又、上記建具外も同様に、工場フッ</p>	<p>宜しいです。</p>

				素樹脂塗装仕上げの記載の場合はフッ素樹脂焼付塗装と考えてよろしいでしょうか。	
184.	建築図	A126	外部建具表 1	<p>建具仕上げについて、外部建具表 1 よりアルミ部分の表面処理は下記の通りと考えてよろしいでしょうか。</p> <p>①SWD-E1-2 化粧ガラリ:フッ素樹脂焼付塗装②SWD-E1-6 止水ガラリ:BB-2 種③SW-E2-1 等アルミブラ:BB-2 種④SWG-E1-1 等: フッ素樹脂焼付塗装④AL-R-1~4: フッ素樹脂焼付塗装</p>	<p>① 宜しいです。 ② 宜しいです。 ③ フッ素樹脂焼付塗装 ④ 宜しいです。 ⑤ 宜しいです。A320 消音ルーバー詳細図</p>
185.	建築図	A559	1F 断熱範囲図	建具枠廻り断熱材について、断熱範囲図より建具枠廻りに断熱材が必要と思われませんが、厚さは t50 程度と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
186.	建築図	A011、 A420	建築工事特記仕様書 8、スライディングウォール詳細図 1	<p>スライディングウォールについて、特記仕様書 8 移動間仕切欄に適用の印がありませんが、スライディングウォール詳細図に記載がある為、移動間仕切は適用と考えてよろしいでしょうか。</p> <p>又、スライディングウォールが適用の場合、材質・パネル厚・表面仕上げ・操作方法・圧縮装置操作方法・遮音性等についてご提示願います。</p>	
187.	建築図	A420	スライディングウォール詳細図 1	スライディングウォール適用の場合について、詳細図よりスライディングウォールは W6405 1 か所、W8677 1	

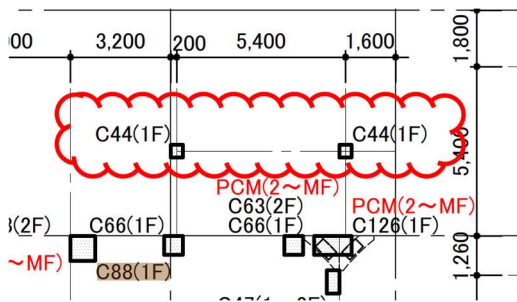
				か所、W7592 1 か所、W8465 1 か所の計 4 か所ですが、右下平面・断面図は 4 か所全てに適用と考えてよろしいでしょうか。	
188.	建築図	A004 A031	建築工事特記仕様書 1 配置図兼屋根伏図	埋戻し及び盛土について、建築工事特記仕様書 1、3 土工事、1 埋戻し及び盛土の種別は B 種と記載があり、配置図より仮置場所は北東の駐車場範囲と思われます。設計書 P34 の埋戻し、盛土の合計数量は 1941m ³ と記載がありますが、敷地内に全て仮置き可能と考えてよろしいでしょうか。又、全て仮置き不可の場合、仮置き可能な数量をご提示願います。	宜しいです。 仮設計画と共に適宜想定してください。
189.	建築図 構造図	A006 S001	建築工事特記仕様書 3 構造関係特記仕様書-2	捨てコンクリートのスリブについて、建築工事特記仕様書 3、3 コンクリート工事、6 では S15 又は S18 ですが、構造関係特記仕様書-2、6 コンクリート工事、9 では S15 と相違します。 構造関係特記仕様書-2 を優先とし、S15 と考えてよろしいでしょうか。	S15 を正としてください。
190.	構造図	S101	地盤改良伏図・1 階基礎伏図	地盤改良範囲について、Y7.X8-12 間は躯体面より外側に地盤改良範囲の図示がありますが、出幅は躯体面より 250mm と考えてよろしいでしょうか。	宜しいです。
191.	構造図	S501	駅前シェルター図	基礎下の地業について、基礎伏図の特記なき	宜しいです。

				限り、3 にラップ コンクリートの記載がありますが、ラップ コンクリートが適用となるフチング 下には捨コンクリート及び砕石は不要と考えてよろしいでしょうか。	
192.	構造図	S502	物置構造図	土間下の地業について、居室となる範囲ではないため、防湿シート、断熱材は不要と考えてよろしいでしょうか。	防湿シートは必要、断熱材は不要です。
193.	建築図	A011 La016	建築工事特記仕様書 8 詳細図(3)	U 型側溝 グレーチング 蓋仕様について、特記仕様書で T-20、普通目ですが、詳細図(3)では耐荷重は記載なし、細目と相違します。又、設計書では T-25、細目と相違します。正とする耐荷重、メインバッチをご提示願います。	U 型側溝の仕様に錯誤があり、正しくは「落ちふた式 U 型側溝 1 種 (PU2-300B)」です。グレーチング 蓋は 1 種 (歩道用) で、耐荷重は T-2、メインバッチは 30mm としてください。
194.	建築図	A011 La017 ~018	建築工事特記仕様書 8 詳細図(3) ~(4)	自由勾配側溝 グレーチング 蓋仕様について、特記仕様書で T-20、普通目ですが、詳細図(4)・(5)では耐荷重は記載なし、細目と相違します。又、設計書では T-25、細目と相違します。正とする耐荷重、メインバッチをご提示願います。	詳細図(4)・(5)、図面右下の特記にて T-25、細目と示しており、それを正としてください。
195.	建築図	A011 La019	建築工事特記仕様書 8 詳細図(6)	集水桝-1、グレーチング 蓋仕様について、特記仕様書で T-20、普通目ですが、詳細図(6)では T-2、細目と相違します。又、設計書でも T-2、細目です。詳細図(6)、設計書を優先とし、T-2、細目と考えてよろしいでしょうか。	詳細図(6)、設計書を優先とし、T-2、細目としてください。
196.	建築図	A011	建築工事特記仕様	集水桝-2、グレーチング 蓋仕様について、特記仕様	詳細図(6)、設計書を優先とし、T-25、細目

		La019	書 8 詳細図(6)	書で T-20、普通目ですが、詳細図(6)では T-25、細目と相違します。又、設計書でも T-25、細目です。詳細図(6)、設計書を優先とし、T-25、細目と考えるよろしいでしょうか。	としてください。
197.	建築図	La020	詳細図(7)	コンクリート舗装について、詳細図(7)に鉄筋及びワイヤメッシュの記載がありませんが、無筋と考えるよろしいでしょうか。	無筋としてください。
198.	建築図	La020	詳細図(7)	透水性コンクリート舗装について、詳細図(7)に鉄筋及びワイヤメッシュの記載がありませんが、無筋と考えるよろしいでしょうか。	無筋としてください。
199.	建築図	La020	詳細図(7)	透水性洗い出しコンクリート舗装-1~3 について、詳細図(7)に鉄筋及びワイヤメッシュの記載がありませんが、無筋と考えるよろしいでしょうか。	無筋としてください。
200.	建築図	La020	詳細図(7)	砂利敷き-1~2 について、詳細図(7)に路盤の記載がありませんが、無しと考えるよろしいでしょうか。	路盤無しとしてください。
201.	建築図	La023	詳細図(10)	コンクリートベンチ 1、2 について、脚部は溶融亜鉛メッキ+塗装仕上げと記載がありますが、塗装種類をご提示願います。	アクリル樹脂焼付塗装としてください。
202.	建築図	La024 La027	詳細図(11) 詳細図(14)	コンクリート階段-1、2、3 について、段鼻タイル 無釉 60×150×t10 と記載がありますが、お考えの参考メーカー、型番をご提示願います。	刊行物の「タイル(標準品)」に掲載されている「階段タイル」で、一般名称が「6号階段タイル」として複数メーカーが取り扱っています。

203.	建築図	La025	詳細図(12)	ウッドデッキについて、端部 RC 立上がり部の天端及び立下り部の仕上、下地をご提示願います。	天端は金ゴテ仕上、立ち上がり部は打放し仕上とし、シリコン系浸透性吸水防止材を塗布してください。
204.	建築図	La026	詳細図(13)	スロープ袖壁について、露出部、壁天端(手摺下)と壁部の仕上、下地をご提示願います。	天端は金ゴテ仕上、側面は打放し仕上とし、シリコン系浸透性吸水防止材を塗布してください。
205.	建築図	La023	詳細図(10)	コンクリートベンチ-1,2 について、基礎コンクリート H=200 に配筋の図示がありませんが、無筋と考えてよろしいでしょうか。又、配筋が必要な場合、配筋をご提示願います。	無筋としてください。
206.	建築図	Si019	サイン基礎参考図	外構サイン A~G 基礎について、地業厚、地業仕様、基礎コンクリート強度、スランプ は下記のように考えてよろしいでしょうか。 □地業厚:捨コンクリート t=50、砕石 t=100 □地業仕様:捨コンクリート Fc18 S18、砂利 RC-40 □基礎コンクリート:Fc24 S12	
207.	設計書	S303	RC 柱リスト	RC 柱リストについて、一般部は溶接閉鎖型、仕口部はカギ型と考えて宜しいでしょうか。	すべてタガ型 (H 型) と考えて宜しいです。
208.	設計書	S316	RC 大梁リスト-	RC 大梁リストについて、M 階大梁リストがありま	宜しいです。

				せん。2階大梁リストに倣うと考えて宜しいでしょうか。	
209.	設計書	S317	壁・擁壁リスト	EW30A 開口部縦横筋・斜め筋について、縦・横筋はSD490と記載がありますが、開口部の縦横筋・斜め筋もSD490と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
210.	設計書	S302	柱芯線図	柱芯線図について、各柱の通り芯からの寄りが不明です。各柱の通り芯から柱芯までの寸法を御指示下さい。	意匠平面詳細図（A042～A053）をご参照ください。
211.	設計書	S102 S302	柱芯線図	<p>柱芯線図 X6 通り Y5-Y6 間 C44 について、柱芯線図には記載がありますが、1階伏図では C55 とくい違えます。C55 を正と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>また、C44 が正の場合、リストを御指示下さい。</p>	C55 を正としてください。



212.	設計書	S101 S301	基礎小梁リスト	基礎小梁 FB56 について、リストが見当たりません。 FB56 のリストを御指示下さい。	W500xH600 , 主筋上下 6-D22 , あばら筋 2-D13@200 , 腹筋なしとしてください。
213.	設計書	S317	1 階伏図 壁・擁壁リスト	1 階伏図について、 EW18 と記載がありますが、壁・擁壁リストに EW18 のリストが見当たりません。御指示下さい。	t=180, 縦筋横筋ともに D13@200 (ダブル)、開口部縦横筋 (端部曲げ補強筋) は 4-D13 , 斜め筋なしとしてください。
214.	設計書	S103 S302	2 階伏図 柱芯線図	2 階伏図 Y1 通り X3 及び X4 通り C66 の記載がありますが、柱芯線図には記載がありません。2 階伏図を正とし C66 を見込むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
215.				欠番	
216.	設計書	A019	外部仕上表	外壁 押出成形セメント板において、コーナー部にコーナーパネは不要と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
217.	設計書	A034	平面図	2 階 X20 通りに庇のような記載がありますが、断面詳細が不明です。仕上を併せて御指示下さい。	A309 外部鋼製建具詳細図 9 X20 通り南面の断面に示しています。
218.	設計書	A036	平面図	ハト小屋において、仕上が不明です。天端・立下り・壁共に塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。	A563 ハト小屋キーブランの断面図に示しています。
219.	設計書	A042	平面詳細図	1 階ドライエリアにおいて、仕上が不明です。下記のように考えて宜しいでしょうか。	床：宜しいです。 壁： EW2 シリケート塗装(着色) としてください。

				<p>・床…ウレタン系塗膜防水</p> <p>・壁…凡例 EW1 シケト塗装</p>	
220.	設計書	A047	平面詳細図	ドレイア スチールグレーチングにおいて、詳細が不明です。御指示下さい。	仕様は設計書の通りで、下地は構造図参照してください。受け鉄骨部材はSB15a (H-150x75x5x7)、構造図 S318 のピン接継手 (RC) を参照してください。
221.	設計書	A058	天井伏図	1階 Y1 通りテラス天井仕上において、凡例 EW2 とありますが、EC2 の誤記と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
222.	設計書	A069	天井伏図	風除室 3 廻り 庇の軒天仕上が不明です。EC2 シケト塗装と考えて宜しいでしょうか。	A061 図と思われます。 EC2 で宜しいです。
223.	設計書	A069	断面詳細図	屋外機械置場において、防水立上りにセメント系厚塗補修材とありますが、防水面に施工と考えて宜しいでしょうか。また、施工範囲は立上り全面でしょうか。併せて御指示下さい。	宜しいです。 防水立ち上がり範囲全面です。
224.	設計書	A071	断面詳細図	1階駐車場 床にアスファルト防水の記載がありますが、断熱材の厚み・防水の種別が不明です。御指示下さい。	防水はジマ PKM-0150 同等品を想定しております。断熱は硬質ウレタンフォーム 現場発泡 t=75 としてください。
225.	設計書	A074	断面詳細図	屋外機械置場 ルーバー設置部において、躯体天端の仕上が不明です。塗膜防水と考えて宜しいでしょうか。	改質アスファルト防水常温複合工法としてください。

226.	設計書	A225	屋外階段詳細図	RC 階段において、仕上が不明です。防水モルタル金鍍仕上と考えて宜しいでしょうか。	刷毛引仕上程度としてください。
227.	設計書	A225	屋外階段詳細図	階段基礎において、仕上が不明です。天端:コンクリート金鍍、立上り:打放補修 素地と考えて宜しいでしょうか。御指示下さい。	階段基礎は床躯体と一体なので、改質アスファルト防水常温複合工法現しとしてください。
228.	設計書	A230-2	階段詳細図 5	屋外階段 4 のガラス手摺に飛散防止フィルムの記載がありますが、ガラス手摺 全てに設けると考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
229.	設計書	A231	金物キープラン	1 階金物キープランに FRP1-1 があり、詳細に A237 雑詳細図 2 参照とありますが、A237 図に詳細がありません。詳細を御指示下さい。	La019 詳細図(6)を参照してください。
230.	設計書	A234	手摺詳細図	ガラス手摺において、支柱の納まりが不明です。御指示下さい。	支柱はありません。
231.	設計書	A237	雑詳細図	FRP グレーチング内の柵において、仕上が不明です。防水モルタル金鍍仕上と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
232.	設計書	A036 A239	平面図 雑詳細図	R 階平面図において、設備基礎のサイズ・高さ・か所数が不明です。御指示下さい。	A054,055,056 2FL+4000 平面詳細図に示しています。
233.	設計書	A240	雑詳細図	屋上機器置場の鉄骨階段基礎において、W 寸法が不明です。1000 程度と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

234.				欠番	
235.	設計書	A049	平面詳細図	2F EV2 号機廻りの壁について、SD2-17 の取り付く壁に壁種の記載がありません。防火区画のため下地凡例 e と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 A105 2階展開図 9 に示しています。
236.	設計書	A049	平面詳細図	2F EV2 号機廻りの壁について、SD2-19 の取り付く壁が W10d の記載がありますが、防火区画のため下地凡例 e と読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。 A105 2階展開図 9 に示しています。
237.	設計書	A049	平面詳細図	各所壁下地 f について、平面詳細図にグラスウールの図示がない壁がありますが、全て内部仕上り材より全てグラスウール充填と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
238.	設計書	A245	消火器キープラン	2F 消火器について、消火栓併設が 3 台とありますが、図示は 4 台です。図示を正として合計 16 台と考えて宜しいでしょうか。	4 台が正です。
239.	設計書	A032 A231	ピット階平面図 金物キープラン	床点検口について、ピット階平面図の図示 46 ヶ所と金物キープランの数量 58 ヶ所が食い違っています。金物キープランを正と考えて宜しいでしょうか。	設備用点検口を含めて設計書の数量が正です。
240.	設計書	A231	金物キープラン	金物キープランにおいて、樹脂製誘導鋸 JIB JPB1 の数量に階段 1~3 の数量も含むと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。

241.	設計書	A232-1	金物キープラン	金物キープランにおいて、JPB1 と JPB2 の仕様が1階と2階で異なります。両者共に1階の仕様を正と考えて宜しいでしょうか。	1階を正とします。
242.				欠番	
243.	設計書	A126 A602	建具表 法規チェック図	SWE2-4b の防火性能について、建具表は非防火ですが、2階法規チェック図では異種用途区画に該当します。併設シャッター SSE2-9 は SWE2-4b の手前までの設置のため、SWE2-4b は特2に読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
244.	設計書	A135 A601	建具表 法規チェック図	SD1-2 の防火性能について、建具表は防火設備ですが、1階法規チェック図には防火性能の凡例がありません。建具表を正とし、防火設備と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
245.	設計書	A135 A601	建具表 法規チェック図	SD1-5 の防火性能について、建具表は防火設備ですが、1階法規チェック図には防火性能の凡例がありません。建具表を正とし、防火設備と考えて宜しいでしょうか。	建具表を正としてください。
246.	設計書	A137 A138 A602	建具表 法規チェック図	SD2-1・2・2・2-6 の防火性能について、建具表に防火性能の記載がありませんが、2階法規チェック図では防火設備とあり、くい違います。法規チェック図を正と考えて宜しいでしょうか。	防火設備としてください。
247.	設計書	A138	建具表	SD2-19 の防火性能について、2階法規チェック図	特定防火設備 遮煙 仕様としてくださ

		A602	法規チェック図	に防火性能の凡例がありませんが、面積区画に該当するため、1階同位置に倣い、特定防火設備と考えて宜しいでしょうか。	い。
248.	設計書	A139 A602	建具表 法規チェック図	SD2-29の防火性能について、建具表は特定防火設備(遮煙)ですが、2階法規チェック図は特定防火設備とくい違います。建具表を正とし、遮煙性能ありと考えて宜しいでしょうか。	遮煙 は不要です。
249.	設計書	A126	建具表	SWE2-4bの形状は、姿図符号SSDE2-4bを適用と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
250.	設計書	A042 ~056 A122 ~125 A132 ~134	平面詳細図 建具キープラン	建具キープランと各階平面詳細図で建具符号がくい違います。建具表・建具キープランには相違ないため、建具キープランの符号を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
251.	設計書	A126 A135 ~138 E901 ~903	建具表 入退室管理	下記建具について、建具表にDL(電気錠)とありますが、電気図には電気錠(カードリーダー)の凡例がありません。建具表に記載の通り、電気錠を見込んで宜しいでしょうか。 【外部建具】	SDE1-4:電気錠 SWDE2-3:電気錠 SD1-15 : 電気錠 SD1-16 : 不要 SD1-18 : 電気錠 SD2-17 : 電気錠

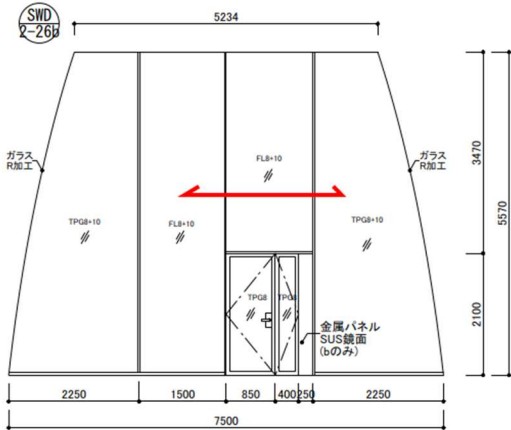
				<p>・SDE1-4、SWDE2-3</p> <p>【内部建具】</p> <p>・SD1-15.1-16.1-18.2-17</p> <p>・LSD1-20、SWD1-36</p>	<p>LSD1-20：不要</p> <p>SWD1-36：電気錠</p>
252.	設計書	A139 A214- 2 E903	建具表 入退室管理	<p>SWD2-26a について、建具表は CL(ケースロック)ですが、電気図は DL(電気錠)とくい違います。また、サレントーム詳細図 2 では SWD2-26b 側に設備用パネルの記載があります。電気錠付の扉は SWD2-26b が該当と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>SWD2-26a に電気錠が必要です。</p>
253.	設計書	A126	建具表	<p>SDE1-4 について、ガラスに FWC6.8 とあります。防火性能の指示はありませんが、記載通り FWC で見込んで宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>
254.	設計書	A126	建具表	<p>上記 SDE1-4 について、外部建具表に記載がありますが、設置場所は風除室内部側扉となっております。塗装は SOP 塗装に読み替えて宜しいでしょうか。</p>	<p>風除室内は外部相当と見込んでいます。</p>
255.	設計書	A126	建具表	<p>AWE1-14 について、建具表 形式欄にすべり出し窓とありますが、姿図では突き出し窓とくい違います。突き出し窓を正と考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>宜しいです。</p>

256.	設計書	A126	建具表	上記質疑が正の場合、金物欄に GH グレソハンド ルとありますが、突き出し窓のため、他排煙窓 同様、自火報連動開放に読み替えて宜しいで しょうか。	手動オペレーターハンドルとします。排 煙窓ではありません。
257.	設計書	A126	建具表	SWE2-1 について、仕上欄に EP 塗装ありま すが、スチール面のため、FP(フッ素樹脂系塗装)に 読み替えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
258.	設計書	A126	建具表	SDE2-5 について、形式欄に両開き戸とあり ますが、姿図は片開き戸とくい違います。片 開き戸を正と考えて宜しいでしょうか。	片開きが正です。
259.	設計書	A137 A412- 1 A412- 2	建具表 収蔵庫詳細図	SD2-1~2-4 について、建具表と収蔵庫詳細図 で枠見込が下記のようにくい違います。収蔵庫 詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 <建具表> ・SD2-1・・・500mm ・SD2-2・・・150mm ・SD2-3、2-4・・・200mm <収蔵庫詳細図>	宜しいです。

				・SD2-1～2-4・・・450mm 程度	
260.	設計書	A137 A412-1 A412-2	建具表 収蔵庫詳細図	SD2-1～2-4 について、建具表と収蔵庫詳細図で扉見込が下記のように違いがあります。収蔵庫詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。 <建具表> ・SD2-1、2-2・・・60mm <収蔵庫詳細図> ・SD2-1、2-2・・・100mm 程度	宜しいです。
261.	設計書	A412-1	収蔵庫詳細図	SD2-1 について、枠廻りに開口部後打ちコンクリートとありますが、モルタル充填のことと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
262.	設計書	A137 A412-2	建具表 収蔵庫詳細図	SD2-2 について、建具表は AT ですが、収蔵庫詳細図では PAT と違いがあります。収蔵庫詳細図を正と考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
263.	設計書	A138	建具表	下記建具に特殊枠とありますが、詳細図・枠形状の記載がなく、納まりが不明です。特殊枠の具体的な内容を御指示下さい。 ・SD2-5、2-6、2-10、2-12	AT エアタイトの気密性ある枠です。

264.	設計書	A140	建具表	SD2-32 について、形式欄に片開扉とありますが、姿図より両開扉に読み替えて宜しいでしょうか。	両開きが正です。
265.	設計書	A145 A236	建具表 雑詳細図	各内部 SG について、雑詳細図 1 に化粧ルーバーとありますが、背面部にダクト接続枠・チャンバボックス・吹付材等は不要と考えて宜しいでしょうか。必要な場合は詳細図を御指示下さい。	ダクト接続枠は必要です。チャンバーボックスは設備工事、吹付材は不要です。
266.	設計書	A127	建具表	外部 AGR-1 について、上記 SG 同様がリ背面の納まりが不明です。ダクト接続枠・チャンバボックス・吹付材等が必要な場合は詳細図を御指示下さい。	ダクト接続枠は必要です。チャンバーボックス、吹付材は不要です。
267.	設計書	A144	建具表	BG:ガラス防煙垂壁について、ガラス欄に FL8・10 PWC15・32 とありますが、適用ガラスが不明です。PWC6.8 で見込んで宜しいでしょうか。	PWC10・FL8 の合わせガラスとしてください。
268.	設計書	A126 A127 A142	建具表	外部建具表 SSE2-7・2-9 及び内部建具表 SS2-2 について、枠仕上:S FP 焼付又は S SOP とありますが、スラットの材質・仕上のことと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
269.	設計書	A142	建具表	FS:シートシャッターについて、スラットの材種・仕様が不明です。耐熱ガラスクロス製と考えて宜しいでしょうか。	樹脂コーティング耐熱ガラスクロス t=0.7mm としてください。
270.	設計書	A126	建具表	上記 SS 及び FS について、SSE2-7 を除き、シ	宜しいです。

		A127 A142		シャッターケースは天井内隠ぺいかと思われます。 SSE2-7はスラット同様、FP焼付塗装とし、隠ぺい部は現場塗装は不要と考えて宜しいでしょうか。	
271.	設計書	A142 A218 A219	建具表 建具詳細図	SS及びFSについて、建具表に枠:S SOPとありますが、平面詳細図・建具詳細図より、枠はステンレスがドレール納まりか SUS鏡面が納まりとなっております。枠:S SOPは適用なしと考えて宜しいでしょうか。	鏡面仕上なので SOPは不要です。
272.	設計書	A121	建具特記	シャッターについて、建具特記にドレール・マグサはステンレスとありますが、座板も同様にステンレスと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
273.	設計書	A139	建具表	SWD2-26aについて、備考欄に防音ガラスとありますが、ガラスは単板 FL12及び TPG15となっております。SWD2-26bが合せガラスのため、SWD2-26a側は防音ガラスの適用はなしと考えて宜しいでしょうか。	A214-2,214-3 サイレントルーム詳細図の通りとしてください。
274.	設計書	A139	建具表	SWD2-26bについて、防音ガラスとありますが、合せガラスの中間膜の仕様を御指示下さい。	一般仕様の中間幕でよいです。
275.	設計書	A139 A214	建具表 サイレントルーム	SWD2-26a・2-26bについて、建具表はRW充填ですが、サイレントルーム詳細図はGW充填と違いがあります。RW充填を正と考えて宜しいでし	GW充填としてください。

				ようか。	
276.	設計書	A214-2	サイレントルーム	<p>サイレントルーム詳細図について、扉部の横断面図はございりますが、扉部欄間 FIX 部の断面図がなく、納まりが不明です。添付赤線部の枠の納まりを御指示下さい。</p> 	A214-3 サイレントルーム詳細図、A220 建具詳細図を参照ください。
277.	設計書	A220	建具詳細図	<p>建具詳細図 3 について、下記の点を御指示下さい。</p> <p>① 平面詳細図部に 2F のみ St 方立:St30×65 SOP 塗装とありますが、1F は方立・短冊アルミなしの突合せシーリング納まりと考えると宜しいでしょうか。</p>	<p>① 宜しいです。 ② 宜しいです。 ③ 宜しいです。</p>

				<p>② 建具詳細図 3 の突合せシリング納まりに該当する 1F の建具は下記の単線表記の FIX 部と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>・SWD1-12、1-13、1-24、1-27、1-29</p> <p>・SW1-25、1-30</p> <p>③ 建具詳細図 3 の St 方立に該当する 2F の建具は下記の FIX 部と考えて宜しいでしょうか。</p> <p>・SWD2-23、2-30、2-35、2-37</p> <p>・SW2-31</p>	
278.	設計書	A220	建具詳細図	<p>上記質疑に関連して、建具詳細図 3 では、FL12 や強化 12 とありますが、建具表では FL10 や TPG15 とあり、くい違います。ガラスの仕様・厚みは建具表を優先と考えて宜しいでしょうか。</p>	建具表姿図を優先してください。
279.	設計書	A220	建具詳細図	<p>建具詳細図 3 について、扉部の横断面図はございますが、扉部欄間 FIX 部の断面図がなく、納まりが不明です。添付赤線部の枠の納まりを御</p>	A220 建具詳細図 3 の扉がない FIX 部を参照願います。

				<p>指示下さい。</p>	
280.	設計書	A139 A220	建具表 建具詳細図	<p>上記質疑に関連して、PC 取合部はシーリング納めとなっておりますが、LGS 壁取合部は天井部同様、C-100×50×20 のコ型枠の納まりと考えて宜しいでしょうか。</p>	シーリング納めとしてください。
281.	設計書	A010 A126 A128 ~131 A141	特記仕様書 建具表	<p>特記仕様書について、カーテンウォールが適用となっておりますが、建具符号 ACW・SCW に該当する建具がありません。各種建具詳細図より、下記建具はカーテンウォールと考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SWGE1-1~1-13 ・SWDE2-1、SWE2-2 ・SWGE2-3~2-5 	宜しいです。

				<p>・SWDE2-2、2-3、SWE2-4a</p> <p>・SW1-33</p>	
282.	設計書	A301 ～ A307	建具詳細図	<p>各 SWGE について、外部鋼製建具詳細図 1～7 がございますが、使い分けは下記のように考えて宜しいでしょうか。</p> <p>・外部建具詳細図 1～4・・・SWGE1-1～1-10</p> <p>・外部建具詳細図 5～7・・・SWGE1-11～1-13</p>	宜しいです。
283.	設計書	A044 A129	平面詳細図 建具表	<p>SWGE1-9 について、他 SWG1-4 等は縦枠部分が見切材 St FB-12×125 の納まりですが、平面詳細図では見切りではなく、方立が^レ材のような納まりとなっております。SWGE1-9 の端部の材質・仕上・納まりの分かる詳細図をご提示願います。</p>	
284.	設計書	A033 A034 A069 ～	1 階平面図 2 階平面図 断面詳細図 1 ～	<p>排水溝について、下記の断面詳細図の壁脇にそれぞれ排水溝の図示がありますが、平面図、雨水排水設備平面図に該当の記載がありません。雨水排水設備平面図の設置か所を正と考えて宜しいでしょうか。もし異なる場合は、設置範囲、排水溝および蓋の仕様を御指示下さい。</p>	雨水排水設備平面図を正としてください。

		A074	断面詳細図 6	・断面詳細図 1(X1-5 間)・・・Y1、Y5 通り	
		A076	断面詳細図 8	・断面詳細図 2(X7 通り)・・・Y1-1500	
		La008	雨水排水設備平面図	・断面詳細図 3(X8-9 間)・・・Y7 通り ・断面詳細図 4(X8-9 間)・・・Y1 通り ・断面詳細図 5(X13-14 間)・・・Y1、6 通り ・断面詳細図 6(X17 通り)・・・Y4 通り ・断面詳細図 8(X10 通り)・・・Y1 通り	
285.	設計書	A011	特記仕様書	<p>植栽基盤整備について「適用する」と「客土」に◎がありますが、参考内訳書は A 種と B 種の記載があります。参考内訳を正とする時は A 種と B 種の使い分けを御指示下さい。</p> <p>客土を正とする時は黒土 t300 で考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>客土を正としてください。</p> <p>客土は黒土で、地被類（張芝含む）は t200、高木・中木・低木は、詳細図(16)「鉢容量及び植穴容量」に準じてください。</p>
286.	設計書	A011	特記仕様書	<p>舗装工事の試験費について確認ですが◎がどちらも無いです。必要な時は御指示下さい。</p>	<p>舗装工事に含まれるすべての試験を行ってください。</p>
287.	設計書	La16	詳細図	<p>U 型側溝-1 と浸透柵についてグレーチングの仕様が不明です。スチール 亜鉛メッキで考えて宜しいでしょうか。</p>	<p>スチール製亜鉛メッキ仕上げとしてください。</p>

288.	設計書	La17 La18	詳細図	自由勾配側溝のグレーチング蓋について確認ですが、4mにつき1枚とありますのでPC蓋とグレーチング蓋が交互になると考えて宜しいでしょうか	PC蓋とグレーチング蓋が交互になるとしてください。
289.	設計書	La18 La19	詳細図	グレーチングの仕様が不明です。スチール 亜鉛メッキで考えて宜しいでしょうか。	スチール製亜鉛メッキ仕上げとしてください。
290.	設計書	La028	詳細図	ネットフェンス門扉とガラスフェンスの現場打基礎について、配筋が不明です。D13@200で考えて宜しいでしょうか。	無筋としてください。
291.	設計書	La023	詳細図	コンクリートベンチについて、配筋が不明です。D13@200で考えて宜しいでしょうか。	無筋としてください。
292.	設計書	La027	詳細図	親子開門扉がありますが詳細が不明です。基礎を含めて詳細を御指示下さい。	La028 詳細図(15)にある「ネットフェンス門扉」が該当します。
293.				欠番	
294.	工事区分表	A002	建築工事区分	建築工事区分にて【37 同上用溝蓋】とありますが、具体的には壁にどのような溝蓋が付くのかをご教示願います。	誤記です。
295.	特記	A004	一般共通事項 29	BELS 申請書作成及び申請手続きにおいて、 【※BELS 表示申請書作成及び手続きを行う受注者が行う。】と記載があります。表示の材質・サイズについてご教示願います。	申請書作成および申請手続きは設計者が行います。表示については本工事に含まれません。
296.	特記	A004	3 土工事 2 建設発生土の処理	【受け入れ場所での処置 ※たい積】となっておりますが、受け入れ先には重機があり、	よろしい。

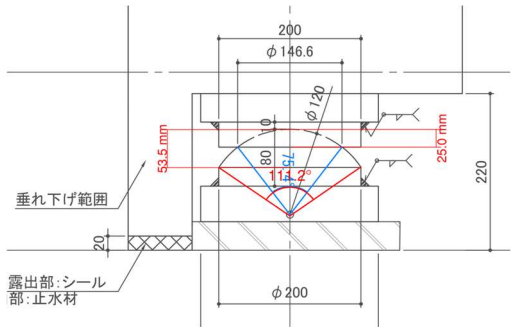
				受注者側は運搬だけを考慮すれば宜しいでしょうか。	
297.	特記	A007	5-4 押出成形セメント板	【やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度】と記載がありますが、下表に具体的な数値がありません。具体的な数値をご教示願います。	使用製品の仕様書に従ってください。
298.	特記	A008	11-3 とい	といの材質で材種が6種類あります。備考には【SUS304、厚2】と記載があります。といの材質を具体的にご教示願います。	SUSは適用しておらず、樋はオープンドレインのみです。
299.	特記	A009	12-3 軽量鉄骨天井下地	工法で【建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した方法】に対して【※適用する】となっておりますが、風圧力が1, 1.15、1.3いずれで見込めば良いでしょうか。	1としてください。 (構造躯体は「耐風設計上の重要度区分Ⅲ類(1.0倍)」です)
300.	特記	A010	15-2 メタルカーテンウォール	カーテンウォールの材料(17.2.2)の表ですが、映像調整は見込まないと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
301.	特記	A011	18-17 天井見切縁	材質が※塩化ビニル製となっておりますが、外部はアルミと考えると宜しいでしょうか。	宜しいです。
302.	特記	A011	18-18 点検口	点検口の形式ですが、額縁タイプと考えると宜しいでしょうか。	天井伏図の凡例の通り、目地タイプとしてください。
303.	特記	A011	20-1 路床	路床の試験は行わないと考えると宜しいでしょうか。	舗装工事に含まれるすべての試験を行ってください。
304.	特記	A011	20-2 路盤	路盤の試験は行わないと考えると宜しいでしょうか。	舗装工事に含まれるすべての試験を行っ

				うか。	てください。
305.	特記	A012	24-3 他機関との協議	【3 他機関との協議】に○が付いているが、具体的な協議機関と協議完了見込み時期をご教示願います。	隣地 JR、UR 都市機構と工事に関して適宜調整を行ってください。
306.	外部仕上表	A019	その他特記事項	外壁打継目地・誘発目地で【15×12 目地棒を用いて】とあるが、外壁の目地は 15 mmでの考えで宜しいでしょうか。	12mm としてください。
307.	内部仕上げリスト	A020	床コンクリート仕上げ	2カ所コンクリート床に【防塵塗装】と記載があるが、具体的に範囲をご教示願います。	事務室 1、作業室 B、事務室 2・窓合盤室、印刷室
308.	内部仕上げリスト	A020	F8 アルミ製ブラシ付きマット t22	エントランスマット t22 ですが、押さえコンクリートに打込みと考えると宜しいでしょうか。	打ち込みではありません。不陸がないように落とし込みとしてください。
309.	内部仕上げリスト	A020	床レベル	【鋼製床下地組】1・2FL の基準ラインにて、床仕上げ面を FL ラインし鋼製下地に段差を設けるか、下地材を通して仕上げ材に段差を設けるかご教示願います。	施工精度もう考慮して適宜ご判断ください。
310.	ピット平面図	A032	床下メンテ	メンテ用昇降タラップは設置する旨記載在りますが、仕様が不明です又人通孔上部に取手の必要は無いでしょうか合わせてご教示願います。	A231 1 階金物キープランに示しています。杉田エース SUS アングル型タラップ同等品をお願いします。人通孔上部に取手は必要です。
311.	1 階平面詳細	A043	PCa に取り合う建具の下地	SD1-6 や SWD1-12 といった PCa に取り合う建具の取り付け下地ですが、上部上枠の為の	下地取付用に StPL アンカーを PCa に埋め込む仕様としてください。

	図 2			下地と PCa の取り合いをご教示願います。	
312.	1 階平面詳細 図 2	A043	PCa に取り合う建 具の下地	上記の建具の両側に下地がない為、PCa に取り付けと考えるて宜しいでしょうか。下地を立てるのであれば、下地を隠すパネル含め、納まりをご教示願います。	PCa に取り付けます。下地取付用に StPL アンカーを PCa に埋め込む仕様としてください。
313.	1 階平面図詳細図— 3	A044	床下メンテ	【子供用 WC・授乳室】床下にピットが在るが床に点検口を設けるのか、地中梁に人通孔を設けるのかご教示願います。	【子供用 WC・授乳室】床下ピットは配管スペースとして利用していないので人通孔は不要です。
314.	断面詳細図— 1	A069	軒天上	Y1 通り軒天が RC で表示されているが、構造図には記載がない LGS 下地と考えるて宜しいでしょうか。	RC が正です。
315.	断面詳細図— 2	A070	断熱材貫通	【室外機置場】外断熱部分は複合板打ち込み、手摺アンカーの取り方をご教示願います。	複合板を貫通させ StFB 製のブラケットをコンクリートで埋め込み、としてください。
316.	断面詳細図— 2	A070	断熱	【屋上の鉄骨】耐火被覆の有無に関わらず、断熱の必要は無いかご教示願います。	必要ありません。
317.	断面詳細図 5	A073	収納の床荷重	活動室和室上部の収納ですが、耐荷重をご指示願います。溝形鋼にて床補強を行っておりますが、床組みについてご教示願います。	施行令 85 条の居室相当（床 1800N/m ² 、梁梁用 1300N/m ² 、地震用 600N/m ² ）を想定しています。 S104 M 階伏せずに床組の鉄骨下地は示しています。

318.	建具特記	A121	仕上げ	【その他】SSのガイドレール・まぐさ・幕板等はSUS304とすると記載在るが仕上げが不明なので、ご教授願います。	HL程度としてください。
319.	外部建具キープラン	A124	EVシャフト感知器点検口	EVシャフトの感知器の為の点検口は見込むため、仕様をご教示願います。	EV1は天井材と同材のアルミパネル点検口を水平面に設けてください。 EV2はSD点検口(特定防火設備 遮煙)
320.	内部建具表7	A141	EVシャフト感知器点検口	SW1-33はEVシャフトの感知器の為の点検口が必要になると考えます。詳細をご教示願います。(一部無目が入りパネル部分となり、点検口がつく等。)	EV1は天井材と同材のアルミパネル点検口を水平面に設けてください。
321.	水廻り展開図—1	A203	鏡枠	【水廻り展開図】鏡の枠の仕様が不明です、ご教示願います。	枠なしです。
322.	和室詳細図	A213-2	収納階段	収納に上がる階段が設置されていますが、点検口と一体ではなく、分離されていると考えて宜しいでしょうか。	階段自体は天井点検口(天井蓋)と一体です。
323.	ドーム廻り断面詳細図	A216	階段手摺	階段手摺の強度についてご教示願います。	1470N/mとしてください。
324.	建具詳細図1	A218	シャッター下地	シャッター下地によるPCa欠き込み範囲についてご教示願います。	A505 Pca 柱表2をご参照ください。
325.	建具詳細	A220	欄間部分の建具	欄間部分の建具ですが、ガラス設置に伴い押	押縁はなく、けんどん、としてくださ

	細 2			縁があると考えて宜しいでしょうか。	い。
326.	雑詳細 図 1	A236	ドーム天部非常用 照明	ドーム天部非常用照明とノンフロン湿式不燃 断熱材吹付 t35 の取合ですが、見切は電気側 で見込まれていると考えて宜しいでしょ うか。	仕上としての見切は不要ですが、施工の ための仮設の見切は適宜想定してくださ い。
327.	雑詳細 図一 7	A241- 2	アンカー強度	【ドーム上部手摺】後施工アンカーに浮か せて固定強度不足する恐れがあります。固 定方法をご教授願います。	アンカーピッチ@450 とし、 下部に無収縮モルタルを充填します。
328.	雑詳細 図 9	A241- 4	支柱 St□-16×16	支柱の強度についてご教示願います。	300N 程度としてください。
329.	天井下 地補強 範囲図	A556	ぶどう棚の有無	天井フトコロが 3,000 mm を超えるもの はぶどう棚が必要でしょうか。(事務室 1、 トイレ 2、休憩室 A)	事務室 1 はぶどう棚が必要です。その 他の室は不要です。
330.	EV	EV001 EV007	各種防音・防振 対応	建築工事関係の 14 に対策例が記載あり ますが、今回 EV1,2 共に対策不要と考 えて宜しいでしょうか。	EV1 は隣接する室がないため対策は不 要です。 EV2 は RC 造で対策が施されていま す。
331.	EV	EV001 EV007	昇降路内の温度	【注意事項】に昇降路内の温度湿度設定 がありますが、上部に機械で換気設備があ ると考えて宜しいでしょうか。	換気設備は設置されておりません。
332.	記念碑	La010 La021	記念碑の据え 付け	記念碑は現場支給品となっておりますが、 据え付けも行うと考えて宜しいでしょ うか。ズレ止め等の処置も後工事と考 えて宜しいでし	据付、ズレ止め等の処置は本工事に含 みます。

				ようか。	
333.	サイン	Si001	グラフィック原稿	a.多言語表記に応じた、翻訳の費用を見込むとありますが、何言語見込めば良いでしょうか。	英語のみ1言語を見込んでください。
334.	フェローデッキ標準図	S015	デッキ床	3. 標準納まりとしてデッキの飲み込みが0～10と記載在るが、梁側の掛かり代は躯体増し打ちと考えて宜しいでしょうか。	宜しいです。
335.		構造図 S311 ～ S312a	PCa 柱脚詳細	柱脚部の球体寸法について詳細図と入札資料の明細とで合わない部分があります。球面加工部の寸法をいただけませんか。	球面加工部の寸法は共通で下図としてください 
336.		構造図 S311 ～ S312a	PCa 柱脚詳細	柱脚部の球体部はSN490B材のご指示ですが、球面加工時の余長を含めました際にSN490B材では材料調達困難な場合、SN490C (TMCP325C)としてよろしいでしょうか。	宜しいです。
337.	実施設	A013	総合評価方式にお	29 総合評価方式における技術提案書の確認	制限付き一般競争入札とする。

	計図		ける技術提案書の確認	の内容に○がありますが、今回の案件は制限付一般競争入札と理解しています。総合評価方式における技術提案は求められていないという事でよろしいでしょうか。ご教示ください。	
338.	実施設計図	A701 ～ A711	仮設計画について	A701～A711に記載の仮設計画については参考仮設という事でしょうか。指定仮設という事でしょうか。ご教示ください。	入札時の仮設計画については計画図によるもので計上としてください。施工時には協議の上、変更可能とする。その場合、工事費については適切に積算し、増減の対象とする。
339.	実施設計図	A712	仮設計画について	今回の工事はJR 東日本との協議によっては、近接施工になるかと思いますが、その際の費用は今回見込まないという事でよろしいでしょうか。ご教示ください。	JR 東日本と協議を行っています。本工事に関しては近接施工とはなりませんとの回答を得ている。
340.	実施設計図	A034		2階に 一般収蔵庫、特別収蔵庫がありますが枯らし期間が必要な収蔵品の収蔵は想定されているのでしょうか。 また、指定工期内に枯らし期間は含まれるのでしょうか。 ご教示ください。	含まない。

341.	実施設計図	A701		<p>ご提示頂いた資料に総合仮設図が添付されていましたが、公道を含めた計画敷地外を使用している計画となっています。</p> <p>行政との打合せはされており、敷地西側の歩行者優先道路、北側の空地は全工事期間中、作業ヤードとして使用してかまわないという理解で宜しいでしょうか。</p> <p>ご教示ください。</p>	よろしいです。
342.	その他			<p>確認申請はいつおりましたか。ご教示ください。</p>	令和8年3月12日
343.	その他			<p>議会承認の予定はいつでしょうか。</p> <p>ご教示ください。</p>	R8.9 予定。
344.	その他			<p>今事業は、補助金事業でしょうか。</p> <p>補助金事業の際は、年度毎の出来高等の条件はございますでしょうか。ご教示ください。</p>	補助事業となります。
345.	その他			<p>土壌汚染対策法の届け出は提出されていますでしょうか。ご教示ください。</p>	工事着手 30 日前までに請負者にて提出してください。
346.	その他			<p>別途工事との兼ね合いで、建物引き渡し後の、</p>	引き渡し後の常駐は必要としません。

				<p>弊社社員の常駐は必要でしょうか。</p> <p>必要な場合の期間をご教示ください。</p>	
347.	その他			<p>本建物の仮使用は想定されていますでしょうか。想定されている場合の範囲・検査・法的条件をご教示ください。</p>	<p>想定していません。</p>
348.	その他			<p>竣工時の諸官庁検査と別途工事の関係をご教示ください。</p>	<p>検査に係る部分及び完成前に先行して工事を行わなければならない部分（壁内の配線等）の別途工事に関しては工事期間中に請負者、別途工事業者間で調整の上、進めてください。検査等に関係のない工事及び引渡し後で可能な別途工事については基本的に引渡し後の工事とします。</p>
349.					
350.					
351.					
352.					